

なか

2

発行日 平成27年2月12日発行

発行 那珂市

編集 秘書広聴課広報グループ

〒311-0192

茨城県那珂市福田1819-5

E-mail hisho-k@city.naka.lg.jp

U R L <http://www.city.naka.lg.jp>

目次 Contents

平成27年那珂市成人式	… 2
水鳥 ^⑩	… 4
平成27年那珂市新年賀詞交歓会	… 8
民生委員・児童委員を紹介します	… 10
わがまちの環境を考える	… 12
那珂・瓜連地区の地域審議会を開催	… 14
那珂市外部評価委員会	… 17
議会 第4回定例会	… 20
那珂市内放射線量の測定状況	… 27
まちの話題	… 30
Information	… 32
さわやかさん、表紙の裏側 ほか	… 36



平成27年 那珂市成人式

謝 辞

本日、ここにいる私たちが晴れて成人を迎えることができましたのは、家族、先生がた、地域のかたがた、そして私たちにかかわって頂きました皆さまの温かい支えがあったからであると思っております。本当にありがとうございます。

私たちは今、社会という新たな環境に一步踏み出そうとしています。今までとは違い、これからは自分自身で考え行動し、責任を持っていかねばなりません。社会人としての常識、一人の人間としての良心、道徳心など人として大切なものが求められていると思います。一人ひとりが道を切り開いていくにも成人としての自覚をしっかりと持ち、これからも精進していきたいと思えます。しかし、私達はまだまだ未熟な人間です。自問自答し、道が切り開けない時、立ち止まってしまうこともあるかと思えます。そのようなときには、今までと変わらぬ皆さまの温かいご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

最後に、この那珂市で育ち、成長させていただいたことに感謝し、これから出会う人々との関わりを大切に、人生を歩んでいきたいと思えます。



新成人代表 小林真由さん



成人式実行委員の皆さん

成人式の企画・運営を担当した成人式実行委員の皆さんは、忙しい合間を縫って集合し、準備を進めてきました。

<平成27年那珂市成人式実行委員>

- 実行委員長 小林真由さん
- 副実行委員長 海野未湖さん、平松麻衣さん
- 実行委員 會澤颯さん、新江友和さん、千葉郁さん、平野弘人さん、鷺沼安理紗さん、笹島夏希さん、米森亜里沙さん、大森未稀さん、大倉未和さん、田中愛梨菜さん、寺門史佳さん、萩野谷瑤さん、綿引桃花さん



1月10日、那珂総合公園で平成27年那珂市成人式を開催しました。今年の那珂市の新成人は582人で、式典には443人の新成人が参加し、澄みきった青空の下で成人としてのスタートを切りました。

式典終了後はアトラクションとしてスライドショーや大抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がり、その後中学校区ごとに記念撮影を行いました。終了後も、久しぶりに再会した旧友との会話がが続いています。

新成人の皆さんおめでとうございます。

はたちの決意

—新たな一歩を刻む—



大高 俊輝さん
(那珂二中卒業)

今は大学生で、まずは勉強と生活の両立をしていきたい。二十歳は大人としての区切りであり、しっかり成人としての重みを自覚して生活していきたい。



石崎 光さん
(那珂一中卒業)

二十歳になったということは大人の仲間入りをしたことで、これからは大人として行動ひとつひとつに責任を持っていきたいと思えます。



大賀絵理子さん
(瓜連中卒業)

両親には今まで育ててもらってありがとうと言いたいです。今はまだ大学生なので、大学内外の活動に積極的に取り組む、将来のために視野を広げていきたいです。



高島 佳祐さん
(那珂四中卒業)

4月から社会人になるので自立できるように頑張りたいです。両親には、今までやりたいことをやらせてもらったので、これから少しずつ恩返ししていきたいです。



畔野 夏希さん
(那珂三中卒業)

小さいころ想像していた二十歳と今二十歳になった自分を比較してみるとまだまだ幼く感じます。これからは、想像していたような大人になっていきたいです。

水鳥

20

水郡線全線開通80周年を記念して 水郡線の軌跡と展望

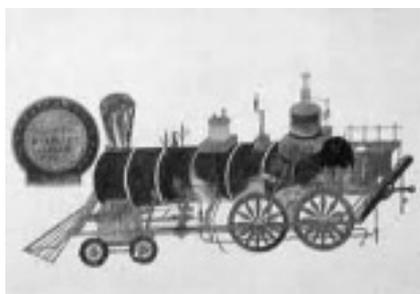
はじめに

社会経済の発展により、それまでの人力や馬車運送では追いつかない現実が出現した。そのようなときに、開国により西洋文明が入ってきた。中でも、蒸気機関車はその力と速さから大量輸送の手段として注目され、その発展が期待された。鉄道敷設振興という大事業の出発であった。

1 日本の鉄道開業

◆ペリー献上の蒸気機関車模型

1825年、蒸気機関車を利用する鉄道が初めてイギリスで実用化された。本格的な客貨物両用鉄道は1830年にイギリスで開通した。軌道間は1435mmの国際標準軌間。日本で初めて走った鉄道は、嘉永6年(1853)7月に長崎へ来たロシア使節プチャーチンがロシア艦上で蒸気車の模型を運転したものである。次は翌7年1月、アメリカのペリーが2度目の来日の際、大統領から将



ペリー献上の蒸気機関車模型
(インターネット)

軍への献上品として持参した模型品、これに機関士が乗って運転した。子どもなら客車の中に入れそう

な大型の模型であった。幕臣の河田八之助が客車の屋根に乗車したが、これが日本の地で初めて客車に乗車した日本人であった。
長崎で展示されてから2年後の安政2年(1855)2月、佐賀藩のからくり儀右衛門の名で知られる田中久重が日本人で初めて蒸気機関車の模型を完成させている。

◆初めて鉄道が走る

安政5年(1858)、イギリスが中国で使用する予定であった軌道762mmの本物の蒸気機関車が長崎に持ち込まれ、1か月にわたって試行運転が行われた。日本の明治新政府は、その後も積極的な働きかけをしていたイギリスの熱意と技術力を評価してイギリスからの鉄道輸入を決定した。明治



明治初期の列車

3年(1870)イギリスのモデルが建築師長に兼任し、本格的な工事が始まった。こうして明治5年(1872)に新橋・横浜間の開業となった。車輛は全てイギリスからの輸入であった。

しかし、鎖国をしていた島国日本が、明治維新よりわずか数年で自前の鉄道を完成させたということ、

欧米では驚嘆の声が上がったといわれる。

2 水戸周辺の鉄道敷設

◆小山線

茨城県内に鉄道が走ったのは、明治18年(1885)7月に古河駅が小山駅などと共に開業したことに始まる。日本鉄道会社日本鉄道線の大宮・宇都宮間が開通したときである(後の東北本線)。その後、明治22年(1859)1月水戸鉄道によって小山・水戸間が開通した。この路線について水戸―下館―笠間―小山の北線案と小山―土浦―石岡―下妻―水戸の南線案が対立した。加えて水戸―石岡―土浦―下妻―古河を結ぶ常総鉄道会社の申請もあつて紛糾した。結局は工事の難易度により北線案が採用された。常磐線の前身と考えてよい路線であった。これは明治25年(1892)3月に日本鉄道会社に買収されたが、明治39年(1906)に鉄道国有法が公布されて国有鉄道水戸線となった。



大正期の下館駅

◆常磐線

一方、そのころ県北の常磐炭鉱の開発が進み、石炭を東京方面に運送する鉄道が計画されていた。その計画は明治27年（1894）11月に認可され、翌28年に内原駅と実戸駅の間に友部駅が敷設され友部・土浦間の工事が着手され土浦線と称された。明治29年（1896）12月、水戸・田端間が開通し、水戸以北の路線工事も順調に進行し、明治30年（1897）2月に水戸・平間が、翌31年8月には水戸・岩沼間が全通した。路線は鉄道国有法が施行され、常磐線と呼ばれるようになった。



洋風木造建築の明治末期の水戸駅

◆湊鉄道

明治期、三浜地方と呼ばれた平磯・湊・磯浜地方は海産物の水揚げや煙草製造業の隆盛を迎えていた。この豊富な物資を発送しつつあった鉄道により、水戸・東京方面へ運送するために鉄道敷設の計画がなされていた。磯浜・湊線、武田・平磯線などがそれぞれであるが実現は容易では

なかった。その後、明治40年（1907）11月に湊鉄道株式会社が設立され、湊（旧那珂湊）・武田（旧勝田市）間の鉄道敷設が実現することになった。大正2年（1913）12月に湊・勝田間の敷設工事が竣工し、25日に開通式が行われた。



開通式当日の那珂湊駅

◆太田鉄道から水戸鉄道へ

明治25年（1892）7月、太田馬車鉄道が水戸・太田間の特許を受けたが、翌26年8月に蒸気軽便鉄道（太田鉄道）に計画変更し、創業総会を開き社長に佐藤信熙（常陸太田市小里）を選び本社を太田に置いた。明治28年（1895）12月、水戸停車場での日本鉄道線との連絡に不便をきたし、時勢にも適合しないとの理由で普通鉄道に変更することにし、翌29年その計画は認可された。鴻巣村（那珂市）の宮本逸三は、鉄



宮本逸三
（宮本雅二氏所蔵）

道が今後の地域発展に大きな効果のあることを見通して、この太田鉄道の発起人の一人となり発足・運営に協力・尽力した。しかし、太田鉄道は株金の払い込みができず、株主間の紛争が起こった。明治31年（1898）11月、太田鉄道は久慈川架橋が未完成のまま水戸・久慈川間を開業させ、翌32年4月になってようやく水戸・太田間全線の開通を見るに至った。しかし、営業不振は続いた。未だ鉄道の利便性が地域に理解されるに至っていないことが大きかったと思われる。このため、明治34年（1901）には水戸鉄道に譲渡されることになった。こうして水戸・太田間の鉄道は、太田鉄道から水戸鉄道に引き継がれた。

水戸鉄道は、既設の鉄道を安く買入れたのに加え、旅客・貨物の利用が大幅に上回るようになり、営業は順調に伸びていった。明治40年（1907）に役員が入れ替わり、以後この水戸鉄道は安田財閥系の鉄道会社となった。

3 水郡鉄道の計画

◆白萩線構想

明治36年（1903）、福島県南郷地方に鉄道敷設の動きが始まった。福島県の交通網整備として海側（常磐線）と内陸部（東北線）との横断線敷設計画である。福島県東白川郡



白石義郎



白石禎美

（『根本正伝』より）

笹原村の村会議員白石禎美は「白萩線」（白河・高萩線）を計画して単身実地調査をした。その後、福島県出身で北海道選出代議士である伯父白石義郎を通して、政府が鉄道院へ計画提出した「平郡線」（平・郡山線）の比較線として白萩線の実地調査をすることを請願した。義郎は、土地の豪農で呉服商を兼ねていて、明治31年（1898）38歳で代議士に当選している。この年に議会は解散となり、義郎は杉田定一が北海道庁長の時に推されて初代の釧路支庁長となり、43歳の時に北海道から出馬して当選、代議士となって北海道15か年計画に尽力し、鉄道敷設のためにも大いに骨を折った。やがて鉄道院が実地調査を行った結果、明治43年（1910）政府は「平郡線」敷設を決定した。

◆白水線構想と根本正



根本正
（『根本正伝』より）

しかし、地域発展の初志貫徹を期す白石禎美は、横断線を断念してそれに替わる白河―棚倉―水戸を結ぶ縦断線構想を見出した。これにより、伯父白石義郎代議士を通して同じ政友会代議士で茨城県選出の根本正に協力を依頼した。根本正もこの案に賛成協力を約した。この「白水線」鉄道建議案はさらに福島県選出代議士佐々木鉄太郎・柏原左源太を加えて4人の名をもつて明治44年（1911）3月の帝国議会議に提出され可決された。

これにより、ただちに沿線の実地調査が実施された。同年9月14日、鉄道院建設課長石丸重美課長は、大雨の中を人力車で水戸駅前を出発し大子町へ向かった。根本正は従者に幌を掛けるよう注意したが、石丸は「幌を掛けては視察にならない」と断り、風雨を厭わず濡れになりながら視察を貫徹した。根本正はその氣迫と献身的情熱に感嘆した。「まるで戦陣で指揮する乃木希典大将の姿を見る思いがした」とその時の感激を山方宿駅開通記念祝辞で述べている。

この調査結果と佐々木鉄太郎代議士の意見を受け、翌45年3月の第2回建議案は水戸・白河・郡山間の「水郡線」に変えて提出し可決された。さらに大正2年（1913）3月にも水郡鉄道建議案が提出可決されているが、これはこの年12月に開通する湊線を背景としたもので水戸―勝田―菅谷―瓜連―大宮―山方―白河―郡山の路線であった。菅谷・勝田間が想定されていたことに注目したい。実現していれば、上菅谷の重要性はさらに倍加していたことであろう。

◆水戸鉄道の私設鉄道

大正3年（1914）3月、帝国議事委員会は予算を可決したが、翌4年11月に立憲政友会に代わって立憲政会の大隈重信内閣となったことで水郡鉄道建議案は否決建設延期となった。この結果を受けた水戸鉄道の鉄道敷設を申請した。これに反対した根本正と宮本逸三は、大正5年（1916）1月地域の発展には国有鉄道が是非とも必要であること、常磐線と湊鉄道の連結および海産物の内陸輸送の



常陸鴻巣駅（歴史民俗資料館所蔵）

便を図る必要があることなどをもつて、近隣町村長らとともに勝田―上菅谷―大宮を結ぶ鉄道敷設の早期実現を茨城県知事岡田宇之助に陳情した。しかし、3月に水戸鉄道の申請が許可され、工事は翌6年6月に着工された。

地域の発展のために早期の鉄道開通を期する宮本逸三は、この水戸鉄道敷設に協力することを決意し、自分の所有する土地を常陸鴻巣駅敷地として寄付提供し、駅舎建設費の一部も寄付した。鴻巣駅舎は大正7年（1918）6月に建築、同月瓜連駅も続き、10月には常陸大宮駅も完成して水戸鉄道の水戸・常陸大宮間が開通した。

◆大郡鉄道

水戸鉄道の鉄道敷設工事が着工する3か月前の大正6年（1917）3月、総選挙で立憲政友会が政権に返り咲いた。水郡鉄道建議案は、大正7年（1918）3月再び可決され、水戸・常陸大宮間を除いて常陸大宮・郡山間の「大郡線」として出発することになった。

大正11年（1922）10月の山方宿駅開通式での根本正の祝辞には、国力増進には鉄道国有策が有効とした



沿線走る蒸気機関車

板垣退助、軽便鉄道法を制定し全国に鉄道敷設を進めた原敬に次いで、鉄道敷設実現に尽力した石丸重美鉄道院建設次官への感謝の念が込められた。

昭和2年（1927）3月、ついに常陸大子駅が完成した。大子町・袋田村など周辺の村々は一体感を持った。住民に歓喜の声が挙がった。その感謝の念は、やがて昭和5年（1930）12月十二所神社境内への根本正胸像建設となつて表れた。根本正は「国のため鉄をもとくす真心になぞならざらむくろがねの道」と詠み喜びを共にした。

ただし、この胸像は昭和16年（1941）12月から始まった戦争中、金属物資供出の対象となつて撤去回収され、現在は台座のみが残っている。しかし、大子町住民の熱意は再度盛り上がり、常陸大子駅開業40周年を記念して昭和43年（1968）に駅前再建された。



再建された胸像

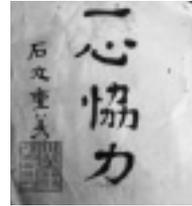


胸像除幕式であいさつする根本正
（根本喜代寿氏所蔵）

◆水郡線全通

根本正・宮本逸三らは、私設水戸鉄道の国有化に奔走していた。その結果、昭和2年（1927）12月国有化が実現され再び「水郡線」と呼ばれるに至った。宮本逸三の実家は石丸次官の色紙「一心協力」が保存されている。水郡線敷設に奔走・奮闘した宮本逸三に対する石丸次官の感謝の証であろう。

国有化以後、大子駅以北は直ちに建設にかかり、まず笹川（現



石丸次官の色紙（宮本雅二氏所蔵）

安積永盛・谷田川間が昭和4年（1929）5月に「水郡北線」として開業した。同時に、水戸・常陸大子間は「水郡南線」となった。南北両方から進められた工事は昭和9年（1934）12月4日に磐城棚倉・川東間が開通して全通、南線・北線を統合して再び「水郡線」に戻った。



全通開通記念の郡山駅スタンプ12月4日の日付がある（仲田義一氏提供）

◆ガソリンカーの導入と無人駅設置
この昭和9年（1934）5月、そのころ鉄道に平行するように進出してきたバスに対応するため、簡便

な停車・出発運転を目指して水戸ー常陸太田ー常陸大宮間にガソリンカーが導入された。その専用駅として後台・中菅谷・南酒出・常陸中里・常陸村田の各無人駅が設けられた。しかし、戦時下の液体燃料の使用規制によりガソ

リンカーは廃止されることになり、新設された各駅は昭和18年（1943）に廃止された。その後、昭和26年（1951）からは太田線に、翌27年に水戸・常陸大子間に気動車（ディーゼルカー）が運転され、昭和28年（1953）に常陸津田・後台・南酒出が、翌29年に中菅谷が無人駅として再開された。



現在の後台駅



沿線走る気動車

◆貨物取扱の廃止

水郡線は、福島県との人的交流や八溝山系の鉱産・林産資源および沿線の農産物運送も大きな使命であった。しかし、昭和30年代後半からの

高度経済成長によりトラック輸送、家用自動車の出現により国鉄経営も苦境に立たされるに至った。昭和30年（1955）12月、通勤・通学時間を除いて水郡線の全面気動車化が実施され、同35年（1960）には常陸青柳・河合、同37年には下菅谷・常陸鴻巣・静・額田などの各駅が貨物取扱を廃止し、大きな使命の一つであった貨物輸送は終わりを遂げた。

◆幻の水郡線延長（上菅谷・勝田間）

水郡線の延長線と考えられていた上菅谷・勝田線は水戸・菅谷・常陸大宮間の水戸鉄道が国有化されたことから力点が削がれることになった。湊鉄道の営業も大きな実績を挙げられない状況にあった。昭和14年（1939）には日立製作所の勝田進出も明らかになり、同16年（1941）春には勝田町と水郡線沿線の各町村によって「上菅谷勝田間鉄道期成同盟会」が結成されて敷設推進が期待された。さらに期成同盟会は、翌17年（1942）には中井川浩代議士を中心にして時猛運動を開始することを確認して推進運動



旧上菅谷駅

を進めた。しかし、結局は実現しなかった。戦時経済に鉄道新設の余裕が無く、地方の一支線鉄道の延長などは緊急性を要しないとみられた。地元側も戦時色に覆われて、鉄道新設運動に力を入れるような状況ではなくなったことなどが原因と考えられる。

4 水郡線の展望

昭和62年（1987）4月から国鉄が解体されて分割民営化が実現した。現在、水郡線は通勤・通学の手段として利用されることが主となっている。人口減少もあってその利用客も減少している。時にイベントが企画されているが、利用客増加には結びついていない。しかし、環境保護、大量輸送のためにも鉄道は貴重な存在である。物流センターの設置と沿線の観光資源の開発から、自動車・バス会社との組み合わせなどで鉄道振興の復活は期待出来ないであろうか。



昨年竣工した現上菅谷駅

※列車・駅舎など明示以外の写真は『写真記録20世紀の茨城』より

平成27年 那珂市新年賀詞交歓会

1月15日、中央公民館で、那珂市、那珂市議会、那珂市商工会およびJ A常陸が発起人となって、平成27年那珂市新年賀詞交歓会が開催され、市内各界を代表する250人が一堂に会しました。

式典では、代表発起人の海野市長が「本日ご参会の皆さまには、その専門性と先見性をもって、那珂市の発展のために今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りたい」と新年のあいさつを述べました。

また、出席者全員による那珂市民の歌斉唱や新しく「那珂ふるさと大使」に委嘱された松河教夫さんの紹介に続き、アトラクションとして、那珂太鼓の演奏、まついえつこさんの『僕のハートは水郡線』が披露され、会場は盛り上がりました。



式典を盛り上げるアトラクション

◆那珂ふるさと大使まついえつこさんの『僕のハートは水郡線』の披露



◆賀詞交歓会に出席した那珂ふるさと大使の皆さんと市長、教育長



◆那珂太鼓の演奏

松河教夫さんを「那珂ふるさと大使」に委嘱しました

那珂ふるさと大使一覧

(敬称略・50音順)

氏名	住所	職業・役職等
青木 芳 昭	京都府	画家、京都造形芸術大学教授
大和田 泰 夫	宮城県	宮城県経営者協会顧問
加藤 純 二	宮城県	宮千代加藤内科医院院長
黒田 ケイ子	東京都	洋画家
古田 土 満	千葉県	税理士法人古田会計代表
小西 哲 之	京都府	京都大学教授
長須 与 佳	東京都	音楽家
長沼 俊 秀	大阪府	大阪市立大学講師
根 本 直	茨城県つくば市	(独)産業技術総合研究所主任研究員
根 本 洋 一	東京都	横浜国立大学大学院教授
初瀬 龍 平	大阪府	京都女子大学教授
まつい えつこ	東京都	音楽家
松 河 教 夫	東京都	(株)宍戸国際ゴルフ倶楽部代表取締役社長
宮 下 敏 子	東京都	アナウンサー、音楽家
横須賀 鎮 夫	神奈川県	加賀電子(株)顧問、那珂市立図書館名誉館長



松河 教夫 さん
(東京都在住)
(株)宍戸国際ゴルフ倶楽部
代表取締役社長

株式会社宍戸国際ゴルフ倶楽部代表取締役社長の松河教夫さんを新たに那珂ふるさと大使に委嘱し、1月15日に委嘱状交付式を行いました。

松河さんは、平成26年4月に同社の代表取締役役に就任し前社長・元那珂ふるさと大使である坂本好伸さんの意志を引き継ぎ、同倶楽部事業所の静ヒルズカントリークラブにおいて、那珂市のPRに寄与しています。

那珂市スポーツ少年団活動紹介

◆地域で楽しくスポーツしよう！那珂市のスポーツ少年団の活動を紹介します◆

問
合わせ

那珂市スポーツ少年団本部
(那珂総合公園スポーツ推進室内)
☎297・0077

瓜連バレーボールスポーツ少年団

こんにちは！私たち瓜連バレーボールスポーツ少年団は、市内の小学校（8校）から団員が集まり、現在4年生8人、5年生7人、6年生4人の計19人で元気に練習しています。当団では、バレーボールを通じて心身を鍛えるだけでなく、相手を思いやり、支えあう絆を強めることに力を入れ通常練習を行い、各種大会に参加しています。



バレーボールは、「レシーブ→トス→スパイク」と1つのボールをコート内に落とさないようにみんなでつなぐ球技で、チームワークがとても大切です。日々の練習では、基礎・基本を中心にこつこつ積み上げ、試合や大会でチーム一丸となってつなぐバレーボールができるよう取り組んでいます。

指導者をはじめ、育成会も協力し合い、練習や試合を通じて子どもたちの笑顔や成長を見守り、応援しています!!



【主な活動】

- 練習日 毎週水曜日 午後6時～8時
毎週土曜日 午前9時～正午

- 場 所 瓜連小学校体育館

【団員募集中!】

- 低学年（1～3年生）も募集しています!
いつでも気軽に見学に来てください。

もちの木スポーツ少年団



もちの木スポーツ少年団は、ミニバスケットボールを主体に体育、学習、地域ボランティアなどの複数活動を行っています。

団活動を通して礼儀、協力協調、思いやりの心など「智・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな子どもに成長することを目標に活動を続けています。

活動としては、ミニバスケットボールの基本技術の習得、駅伝大会への参加、地域清掃

ボランティア、スケート訓練、おもしろ理科実験、バーベキューやレクリエーションなど多岐にわたって活動しています。

学年、男女を問わず随時見学（体験）を受け付けています。興味のあるかたは練習時間にお越しください。団員・指導者一同お待ちしております。

【主な活動日】

- 練習日 毎週土曜日・日曜日
- 場 所 額田小学校・額田城跡

★団員随時募集中(^_^)/★

いつでも気軽に見学に来てください！みんなで待ってます!!



那珂第1地区
民生委員児童委員協議会

あなたの地区の 民生委員・児童委員

氏名	担当地区
小山 春雄	鷺内 (1・5・11・16・18~20・25・27班)
加藤 護	鷺内 (2~4・6~10・23・26班)
片岡 節子	鷺内 (12~15・17・21・22・24班)
宮田 正紀	東組 (2・6・10・14・20・21・23・27・30・33・34・38班)
宮田 ひろ子	東組 (3・7・9・13・15~19・22・26・37班)
椎名 博	東組 (1・4・5・8・11・12・24・25・28・29・31・32・35・36班)
植田 貢	寄居
檜村 修	仲之内 (湊街道東側 1・2・4・5・10・11班)
平野 治	仲之内 (湊街道西側 3・6~9班)
大和田 優	堀之内 (国道349号バイパス東側)
磯崎 正洋	堀之内 (国道349号バイパス西側)
檜村 富雄	下宿下
船橋 和江	下宿上 (12~28班)
高野 れい子	下宿上 (1~10班、市営かしま台住宅)
川村 禮子	かしま台 (国道349号バイパス東側)
萩谷 幸江	かしま台 (国道349号バイパス西側)
向田 博明	菅谷中宿 (東区18~24・27~31・38・46班)
小川 力男	菅谷中宿 (西区 (水郡線西側))
山崎 光	菅谷中宿 (中央区 1~8・13・15~17・25・26・36・37・47班)
鴨志田 誠	上宿第1 (1・2班、水郡線西側)
川又 徹夫	上宿第1 (3~5班、竹ノ内1・2丁目)
橋本 孝男	上宿第2
井澤 三千代	上宿第3 (1~6・12~16班、組外)
平野 百代	上宿第3 (7~11・17・18・20・21班)
笹島 節子	一の関 (2・3・5・6・9・10・12・15・17・18・21・23・25班)
飯塚 賢治	一の関 (1・7・8・11・13・14・16・19・20・22・24班)
今川 順子	ときわ台
茂木 真一	原福田
吉原 和子	仲福田
後藤 和子	下福田

菅
谷

あなたの身近な 相談相手です

民生委員・児童委員は、地域の皆さまの福祉に関する相談を受け、支援する活動を行っています。

生活上の相談や障がいのある人、寝たきりや一人暮らしの高齢者、さらに児童や母子父子世帯の支援など、幅広く活動しています。また、主任児童委員は、児童福祉に関する事項を専門に担当し相談を受けています。援助や相談、行政とのパイプ役を担う民生委員・児童委員にどうぞお気軽にご相談ください。
(平成27年2月1日現在)

問い合わせ

社会福祉課生活福祉グループ

☎298-1111 (内線125)

氏名	担当地区
細貝 幸雄	野仲 (野中、駒潜、田代、茨野)
會澤 和恵	上宿 (新地、宮脇、上宿)
海野 美枝	後台中宿 (中宿、大仏、下新地、西原)
三田寺 重光	田向 (田向、津田)
鈴木 清子	後台第三 (下野)
岡本 洋一	後台第三 (出水、富士山)
根本 和子	中台第一 (旧国道349号西側)
石川 つや子	中台第一 (旧国道349号東側、中台津田の一部)
鈴木 孝雄	中台なみき (北側、旧国道349号東側)
安田 恭子	中台なみき (南側(旧国道349号東側を除く)、中台第一の一部)
中村 よし子	中台津田 (那珂湊那珂線北側、後台の一部)
金澤 昌男	東木倉
木内 玲子	西木倉
浅野 博文	豊喰

五
台

瓜連地区
民生委員児童委員協議会

氏名	担当地区
金子 巖	静(下組、中組、新地組)
樫村 のり子	静(東組、上組、北城各組)
疋田 泰子	下大賀(長堀組、中通り組、表組、西組、久保組)
樫村 満久	下大賀(前新地組、荒谷組、馬場各組、駅前各組)
仲澤 嘉子	瓜連上(1~7・16~20班)
寺門 孝子	瓜連上(8~15班)
大竹 進	瓜連中(1・3・7・8・10・11班)
平松 すゑ	瓜連中(2・4~6・9・12班)
秋山 美津子	瓜連下(1~10班)
雉子波 幸子	瓜連下(11~17班)
海野 和代	古徳(1~5班)
関谷 靖子	古徳(6~11班)
小环 達男	中里(1~7・21・22班)
住谷 民恵	中里(8~10・12~16班)
高畑 淳	鹿島(台組、中組、西1・2)
生田目 道子	鹿島(東1・2、北組)
加藤木 捷洋	平野第1(1~12班)
青柳 嘉昭	平野第1(13~23班)
岡村 恆子	平野第2(1~8班)
金澤 英子	平野第2(9~14班)
椎名 美佐子	平野第3(1~8班)
薄井 俊一	平野第3(9~14班)

瓜連



那珂第2地区
民生委員児童委員協議会

氏名	担当地区
関 博	本米崎(四堰、海後、塙)
佐々木 澄夫	本米崎(久保、松原)
篠塚 政雄	向山(入向山、表向山、笠松、保登内)
鹿志村 洋行	横堀(道高、所の内、隣友、野所内、重楽)
平山 敏子	横堀(上記を除く)
住谷 惇	堤
瀬谷 正志	杉(杉北、杉西、杉東1~3・5班)
瀬谷 良子	杉(杉東4・6~8班、杉南)
鈴木 久美子	額田第一(永井、柄目、新地)
武藤 保補	額田第二(下宿、本郷、上之町)
大録 毅	額田第三(下之町、坂下、向山南)
椎名 猛博	額田第三(高岡)
白土 和夫	額田第四(小堤、仲之町、横宿町、天王)
鈴木 久夫	額田第五(新道、古宿)
戸祭 守男	額田第六(天神町、森戸、畑中)
小林 稔	若宮、中谷原
檜山 忠雄	宿
館 敦子	立石
根本 洋子	田崎、大内
小貫 さち子	下江戸
綿引 菊江	飯田(旧1区)
小菅 隆	飯田(旧2区)
鈴木 和子	飯田(旧6区)
大内 康子	鴻巣(木戸、本上、本中、鴻巣住宅)
小澤 ますみ	鴻巣(上記を除く)
高畑 静雄	旭
仲田 公子	戸崎(松並、文洞、北山、松の口)
寺門 律子	戸崎(西組、南組、北組)
米田 正一	鹿島、白河内
萩谷 博美	門部台
會澤 光男	門部环、下河原
环 富美子	北酒出、内宿
片岡 岩男	新宿

神崎

額田

戸多

芳野

木崎

主任児童委員

那珂第1地区民生委員児童委員協議会		那珂第2地区民生委員児童委員協議会		瓜連地区民生委員児童委員協議会	
飛田 美智子	松本 次雄	加藤 智恵子	秋山 英子	和田 光江	加藤 智子
那珂一中学区 (五台小・菅谷西小)	那珂四中学区 (菅谷小・菅谷東小)	那珂二中学区 (本米崎小・横堀小・額田小)	那珂三中学区 (芳野小・木崎小)	瓜連中学区 (瓜連小)	



できることから始めようCO₂削減

◆温暖化は、「2℃未満」に

「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」（解説参照）は、昨年11月2日、地球温暖化をめぐる最新の研究成果をまとめた第5次報告書を公表しました。報告書では、18～19世紀に起こった産業革命後の気温上昇を「2℃未満」に抑える国際目標の達成には、二酸化炭素（CO₂）の総排出量を約2兆9千億トンにとどめる必要があると分析しました。しかし、すでに世界で排出されたCO₂は約1兆9千億トンで、余剰は約1兆トンであり、2011年の世界の排出量約350億トンのペースが続けば、今後30年足らずで許容量の上限に達してしまいます。「2℃未満」の目標達成には、発電部門で再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、将来的にはCO₂を回収・貯蓄する技術を開発・普及させることが必要になるといわれています。

【解説】気候変動に関する政府間パネル（Intergovernmental Panel on Climate Change、略称：IPCC）とは、国際的な専門家で作る、地球温暖化についての科学的な研究の収集、整理のための政府間機構です。数年おきに発行される「評価報告書」(Assessment Report)は地球温暖化に関する世界中の数千人の専門家の科学的知見を集約した報告書であり、国際政治および各国の政策に強い影響を与えています。2007年に「人為的に起こる地球温暖化の認知を高めた」として、ノーベル平和賞を受賞しました。

◆買い物で賢く選ぶコツ



温暖化を防ぐための取り組みは、日々の暮らしの中でできることがたくさんあります。物を買ったり、サービスを利用したりするときほんの少し意識するだけで、エネルギーや資源の無駄遣いを防ぐことができ、地球温暖化防止につながります。特に、家電製品や乗用車などの大きな買い物をするときは、機能面だけでなく環境面の性能も比較するようにしましょう。省エネ性能の違いによって、年間の電気使用量や燃料消費量に大きな差が出ます。

家電製品の省エネ性能を調べるときに便利なのが、「省エネラベル」です。上の図は、省エネラベルについて説明しています。上のマークは100%以上省エネ基準を達成したことを、下のマークは省エネ基準に達していないことを表しています。省エネラベリング制度は2000年8月にJIS規格の表示制度として当初は10品目の家電製品で導入され、その後対象品目が追加され、現在は計18品目に表示が義務付けられています。制度対象となっている家電製品を購入する場合には、どの製品が省エネタイプなのかを一目で見分けることができます。

野菜や肉などの食材を選ぶ際には、「地産地消」を心がけるようにするとよいでしょう。地元で生産されたものをその近くの地域で消費すれば、運搬などの物流にもなって発生するCO₂が少なくなるうえ、地域を潤すという意味でも大切なことです。また、旬の食材を選ぶことも大切です。旬ではない野菜や果物を育てるためには、ハウス栽培などの方法の他に空調設備を利用して温度調節する場合もあるため、露地栽培に比べて多くのエネルギーが使われることとなります。



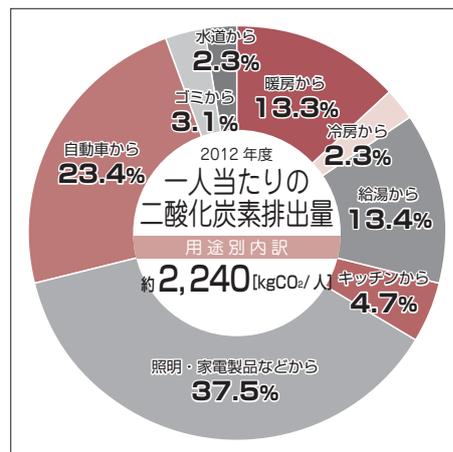
買い物をするときには…

- ①トレイ、ビニール袋、プラスチック容器など、無駄なパックの商品は避けましょう。
- ②洗剤やシャンプーなどは詰め替えができる商品を利用しましょう。
- ③買い物の際にはエコバックを持参することを習慣化しましょう。
- ④無計画な衝動買いやまとめ買いは使いきれずに捨ててしまうものになるので控えましょう。
- ⑤バラ売りのものは必要な量だけ買うことができ、包装も簡易なのでおすすめです。

◆家庭における省エネの大切さ

「2℃目標」達成には、省エネも極めて有効だと考えられています。日本のエネルギー消費を部門別にみると、民生家庭部門が高い伸びを示しており、家庭での一層の省エネ推進を図ることが必要不可欠となっています。右の図は、2012年度における国民1人当たりの家庭から排出されるCO₂量と用途別内訳を示しています。家庭からのCO₂排出量は、民生家庭部門、運輸（旅客）部門の自家用乗用車、廃棄物（一般廃棄物）処理からの排出量、および水道からの排出量を足し合わせたものです。家庭から排出されるCO₂は国民1人当たり1日約6.1kgにもなります。CO₂の1kgがどれくらいかというと、約546リットルの容積があり（気温20℃の場合）、家庭のお風呂2杯～3杯ぐらいの量になります。右図で、排出量が37.5%を占める「照明・電気製品などから」には、電気冷蔵庫、照明器具、テレビなどが含まれており、「暖房から（冷房から）」にはエアコンやストーブなどが含まれています。また「給湯から」の13.4%はおもにガス温水機器です。

CO₂排出量が増えた原因は明らかです。必要以上の物質的な豊かさを求め過ぎた、過度の物質文化への依存の結果なのです。私たちは、豊潤に“モノ”が溢れた生活を手に入れましたが、その代償として環境破壊も進みました。このことを、市民一人ひとりが深刻な問題として認知しなければなりません。



※出典
温室効果ガスインベントリオフィス全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)より引用

「STOP! 地球温暖化」県民宣言



- 1 1人1日1kgのCO₂の削減を目指して、省エネ型生活を実践します
- 2 アイドリングストップなどのエコドライブを実践します
- 3 バスや鉄道など公共交通機関を積極的に利用します
- 4 電球型蛍光灯など省エネ型の商品を使用します
- 5 森林や身近な緑を守るなどCO₂を削減するための活動に参加します

平成20年6月20日

STOP! 地球温暖化 県民総決起大会

茨城県では、平成20年6月に「STOP! 地球温暖化」県民総決起大会が開催されました。大会では5つの項目からなる「STOP! 地球温暖化」県民宣言が採択されました。その中で、茨城県民は「1人1日1kgのCO₂の削減を目指して、省エネ型生活を実践する」ことをスローガンに掲げました。

温暖化を防止するために、私たちは自分にできることから一つひとつ取り組みを積み重ね、CO₂の排出量を減らしていくことが大切です。下の図は、家庭内のちょっとした気配りで削減できる、1日当たりのCO₂量を示しています。県民決起総会の宣言にもあるように、1人1日1kgのCO₂削減を目指して、これからもできる範囲で賢く工夫しながら、地球温暖化防止活動に参加しましょう。

リビングで

テレビを見ないときは消す	13g
1日1時間パソコンの利用を減らす	13g
主電源をこまめに切って待機電力を節約する	65g
夏の冷房設定温度を26℃から28℃に2℃高くする	83g
冬の暖房設定温度を22℃から20℃に2℃低くする	95g

お風呂／トイレで

シャワーの利用時間を1日1分短くする	74g
風呂の残り湯を洗濯に使いまわす	7g
入浴時は間隔をあけずにお風呂に入る	86g
使わないときに温水便座のふたを開けておく	15g

キッチンで

炊飯器の保温機能を使わないようにする	37g
ガスコンロの炎をなべ底からはみ出さないよう調整する	5g
冷蔵庫にものを詰め込みすぎない	18g
冷蔵庫を壁から適切な間隔で設置する	19g

◎CO₂排出量を減らすための生活の工夫◎

那珂・瓜連地区の地域審議会を開催しました

合併前の那珂町および瓜連町の区域に設置された地域審議会を、11月5日、瓜連地区は瓜連支所分庁舎で、那珂地区は市役所本庁舎で開催しました。

審議会では、各地区11人の委員により、合併時に策定された新市まちづくり計画の執行状況や地域の課題に関する意見交換などが行われました。

また、今年度は那珂町と瓜連町が合併し、那珂市施行から10年が経過することから、合併後の10年間を振り返って活発な意見交換が行われました。

条例で定めた設置期間が平成27年3月31日までとなっており、今年度をもって地域審議会は終了となります。

○地域審議会とは、合併後の地域の声を市政に反映させ、旧那珂町・旧瓜連町の均衡ある発展のために、合併時に設置された審議会です。
(設置期間は合併後10年間)



瓜連地区地域審議会



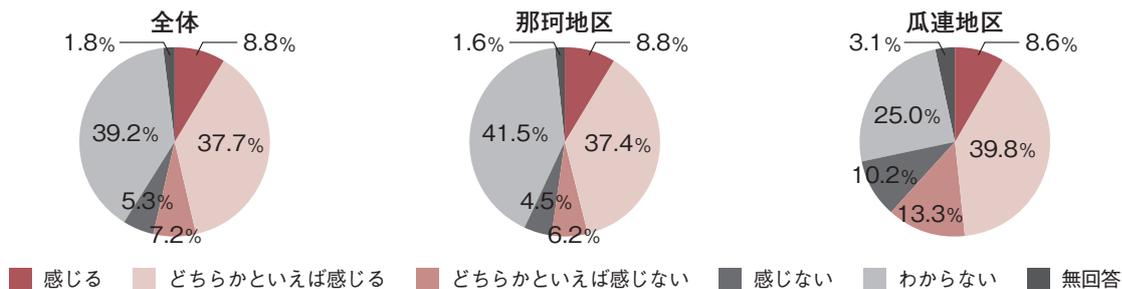
那珂地区地域審議会

合併10年を振り返りました

○合併に関する市民の意識調査（平成25年度市民アンケートより）

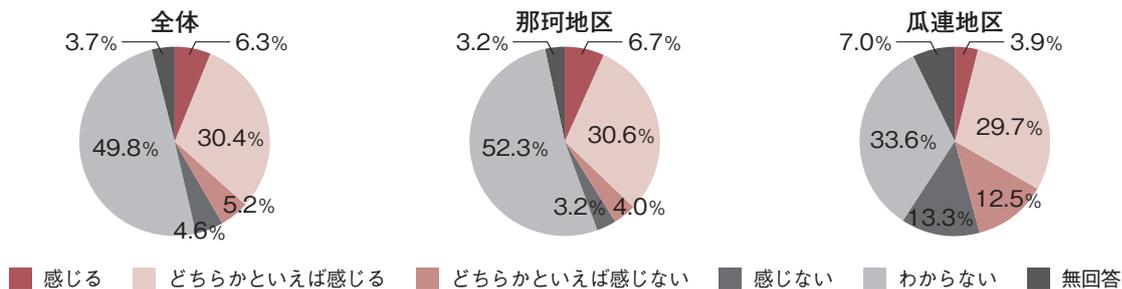
◆那珂市として一体感が図られてきていると感じていますか？

「一体感」は、全体で「感じる」「どちらかといえば感じる」が46.5%と約半数の市民が一体感が図られてきているとの回答でした。地区別では「どちらかといえば感じない」「感じない」が瓜連地区で23.5%と高い結果となりました。



◆旧両町の均衡ある発展が図られてきていると感じていますか？

「均衡ある発展」は、全体で「感じる」「どちらかといえば感じる」が36.7%で約4割の市民が均衡ある発展が図られてきているとの回答でした。地区別では「どちらかといえば感じない」「感じない」が瓜連地区で25.8%と高い結果となりました。



○新市まちづくり計画の執行状況について

◆安全で快適な住みやすいまちづくり

- 市民参加による地域防災体制づくりのため、各自治会への自主防災組織の設立に力を入れ、現在49組織が設立されました。
- 上菅谷駅や瓜連駅周辺整備事業および下水道事業など、魅力あるまちづくりに取り組み、宅地化率や生活排水総合普及率が改善しました。
- 両宮排水路を整備し菅谷地区周辺地域の冠水被害などを防ぎます。平成29年度の完成を目指しています。

【参考】

- 宅地化率
平成17年度 42.7% → 平成24年度 52.0%
- 生活排水総合普及率
(下水道、農業集落排水、合併浄化槽での生活排水処理割合)
平成17年度 63.6% → 平成24年度 73.8%



JR上菅谷駅舎

◆健やかで生きがいをもって暮らせるまちづくり

- 福祉事務所を開設し、社会福祉主事や精神保健福祉士などの専門職員を配置することで社会福祉行政の総合的な相談援助業務が身近になりました。
- 小児マル福の中学3年生までの拡充、保育所定員増のための民間保育所建設への補助、子育て支援センター「つぼみ」およびこども発達相談センター開設など、子育て支援に力を入れています。

【参考】

- 認可保育所定員数
平成17年度 580人 → 平成24年度 630人
- 子育て支援センター「つぼみ」利用者数
平成19年度開設 6,122人 → 平成24年度 12,758人



地域子育て支援センター「つぼみ」

◆豊かな心と文化を育むゆとりある教育のまちづくり

- 教育施設の充実を目指し、小中学校校舎の耐震補強工事、大規模改造工事を実施しています。耐震補強工事は平成27年度までに全ての小中学校で完了する予定です。
- 市立図書館を整備し、多くの市民が利用しています。

【参考】

- 小中学校施設の耐震化率
平成18年度 45.3% → 平成26年度 93.3%
- 市民1人当たりの図書貸出数
平成18年度開設 3.6冊 → 平成24年度 9.0冊



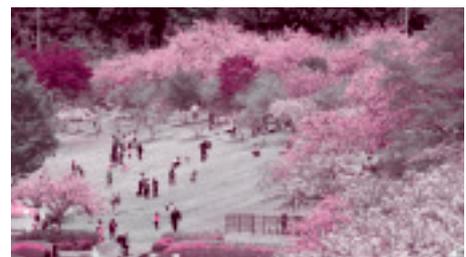
市立図書館

◆活力があり賑わいのあるまちづくり

- 安定的な農業経営体の育成のため、担い手の育成に取り組み、認定農業者数が増加しました。
- 観光資源の有効活用を図り、観光客の誘致に努めています。東日本大震災の影響により減少した観光客も少しずつ回復しています。

【参考】

- 認定農業者数
平成17年度 65経営体 → 平成24年度 84経営体
- 観光客入込数
平成17年度 30.2万人 → 平成23年度 16.0万人
→平成24年度 21.1万人



静峰ふるさと公園の八重桜まつり

◆市民との協働によるまちづくり

- まちづくりに市民が積極的に参画できるよう、平成22年度に協働のまちづくり推進条例を制定しました。
- コミュニティ施設としてふれあいセンターよこぼり、ふれあいセンターごだいを整備し、地域の活動の場として大いに活用されています。

【参考】

- 積極的にまちづくり活動を行っている団体数
平成17年度 2団体 → 平成24年度 240団体



ふれあいセンターごだい

◆行財政運営の効率化による自立したまちづくり

- 職員数の約1割、議員数の約4割を削減し、約3億円の人件費を削減しながら、福祉事務所の開設や日曜開庁など、行政の効率化と住民サービスの向上を図りました。
- 限られた財源の有効活用を図るとともに、公債費を抑制するなど健全財政の堅持に努めています。

【参考】

- 普通会計における人件費
平成17年度 43億100万円 → 平成24年度 40億1800万円
- 実質公債費率（収入に対する負債返済の割合を示す比率）
平成17年度 14.8% → 平成24年度 10.6%

【円滑に移行し一体感を図ります】

合併協議会で最重要事項として協議した45件の事務事業については、平成22年度までに統一されました。残っている給食センターの統合も今後実施する予定です。

これまで各々の自治体(旧那珂町・旧瓜連町)で行ってきた事務事業の統一や見直しについては、時間を要することもありましたが、おおむねスムーズに移行できました。昨年実施した市民アンケートでも、合併後の一体感について、「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答したかたが46%で、「どちらかといえば感じない」「感じない」と回答したかたの12%を大幅に上回っています。同様に、均衡ある発展についても「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答したかたが37%で、「どちらかといえば感じない」「感じない」と回答したかたの10%を大幅に上回っています。

また、合併の際に策定した新市まちづくり計画の進捗状況については、行財政の効率化を行いながら、限られた財源を有効活用し、福祉事務所の開設や日曜開庁を実施するなど市民サービスの向上を図りつつ、協働のまちづくり条例を制定し市民との協働によるまちづくりを推進してまいりました。各種補助金や合併

特例債を活用し、まちづくり事業、街路整備事業や小中学校の整備などのインフラ整備も着実に進めてまいりました。未実施の「公営住宅の整備」「幼保一元化の推進」の2事業は、民間事業を活用することにより実施を見送りました。

今後の課題としては、さらなる行財政運営の効率化、地域間の一体感の確保および均衡ある発展を目指し、いっそう地域の意見、要望の把握に努めることです。

この課題に取り組む、市民視点で各種施策を推進することにより、市民福祉の向上につなげていきたいと考えています。



問い合わせ

政策企画課政策企画グループ
☎298・1111
(内線432・433)

■那珂市外部評価委員会

「評価結果を受けて市の方針を公表します」

那珂市では、透明性の高い開かれた市政を推進し、市民の皆さまとともに、効果的で効率的な行政改革を推進するため、11月8日、中央公民館において「外部評価委員会」を公開で実施しました。

当日は、20歳以上の市民の皆さまの中から無作為に抽出した400人のかたのうち、参加を希望された9人のかたに「市民判定人」としてご出席いただき、判定していただきました。

●評価結果と市の方針

外部評価結果を受け、市長を本部長とする行政評価推進本部会議において、委員会の議論および評価の内訳を十分踏まえて検討し、対象と

なった事業の今後の方針を表の通り決定しました。

市では、この方針をもとに、今後の予算案の編成作業を進めてまいります。また、市民判定人や傍聴人の皆さまから寄せられた意見につきましては、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

外部評価結果および市の方針の詳細については、市ホームページで、市民判定人・傍聴人の皆さまにご回答いただいたアンケート集計結果とともに公表しています。

また、当日の会場の様子を記録した映像を、どなたでもご覧いただくことができるよう、インターネット動画共有サービス「YouTube」に登録しました。

※「那珂市外部評価委員会 動画」で検索してください



外部評価委員会会場

◆平成26年度 外部評価結果を受けて決定した市の方針

事業名称	外部評価結果	市の方針	担当課
職員研修事業	継続(見直し)	継続(見直し)	総務課
市民自治組織支援事業	継続(見直し)	継続(見直し)	市民協働課
ごみ啓発等推進事業	継続(見直し)	継続(見直し)	環境課
家庭児童相談事業	継続(見直し)	継続(見直し)	こども課
各種検診事業	継続(見直し)	継続(見直し)	健康推進課
商工会補助事業	継続(見直し)	継続(見直し)	商工観光課

問い合わせ

行政改革推進室
☎298・1111
(内線572・573)

■平成26年度行政評価について

市では、外部評価以外にも、より効果的で効率的な自治体経営を進めていく取り組みを進めています。

その一つとして、まちづくりの方向性を目的別に示したもの(施策)について、指標を設定し、前年度の活動内容を評価する「施策評価」と、個々の活動(事務事業)について、前年度の活動内容を評価する「事務事業評価」を、それぞれ毎年度実施しています。

これらは、施策・事業ごとに評価しており、現状や事業の内容を簡潔にまとめています。これらは市ホームページのほか、市立図書館にて閲覧することができます。



第2次那珂市行政改革大綱実施計画・ 財政健全化プラン推進計画の実施状況をお知らせします

第2次那珂市行政改革大綱実施計画

市では、地方分権に即した行政運営を展開し、限られた財源を有効に使い、市総合計画の着実な実施と簡素で効率的な行政システムを確立するために、「第2次那珂市行政改革大綱実施計画」(推進期間…平成22年度～25年度)に基づき行政改革を進めてきました。



■行財政改革懇談会の様子

基本方針ごとの主な取り組み

●市民とともに進める行政改革の推進

◆民間委託の推進

市民サービスの向上に向け、市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料のコンビニ収納を開始しました。

◆公立保育所の民営化

額田保育所の民間移譲について、民営化ガイドラインを策定し、保育所民営化にともなう運営法人選定委員会に移管先を決定しました。

◆住民主体によるまちづくり活動支援制度の確立

地区まちづくり委員会、自治会、市民活動団体などに対し、市民自治組織支援事業や市民活動支援事業、市民活動支援センター運営事業など活発化に向けた支援を行うとともに、まちづくりリーダー養成講座や協働のまちづくり推進フォーラムを実施しました。

◆パブリックコメントの実施

各種計画や構想などの策定過程で市民の皆さまの意見反映を図り、行政の透明性および説明責任の向上のため、パブリックコメント(市民意見提出手続)を実施しました。

また、市政の運営に反映させるため、市長が直接市民の皆さまのところに outgoing、市政についての意見や提案などをお聴きする「市長と話をうふれあい座談会」を開催しました。

本計画では、市民主体・市民参加による「活力あるまちづくり」を推進するとともに、コスト意識など民間の発想を生かした行政経営への転換を進め、「行財政基盤の確立」を柱に、「市民とともに進める行政改革の推進」「市民ニーズに対応した行政経営体制の確立」「健全で効率的な行政経営の推進」の基本方針を掲げ、44の実施項目に取り組んできました。

市政全般にわたり事務事業の見直しや組織機構の見直しなど行政事務の簡素化・効率化を図ってきた結果、財政調整基金を積み増すことができたことなど一定の成果はありましたが、計画期間内に発生した東日本大震災の影響もあり、積み残しや継続実施が必要な項目もあることから、引き続き「第3次那珂市行財政改革大綱」(推進期間…平成26年度～30年度)を策定し、今後も大綱の考えを尊重・継続していくこととしました。



■協働のまちづくり推進フォーラム

●市民ニーズに対応した行政経営体制の確立

◆組織機構の見直し

行財政改革の推進にともない、より少ない職員でなおかつ市民にとってわかりやすい組織とするため、これまでの係制を廃し、グループ制を導入しました。

また、震災の体験や住民ニーズの多様化、さらには地方分権の推進などの諸課題に対応するため組織機構の一部を見直し、将来を見据えて「那珂市行政組織機構検討委員会」を設置し、引き続き協議を進めています。

◆小中学校の再編

小中学校適正規模等検討委員会の答申を基に、戸多小学校については、「戸多地区統合計画検討委員会」を開催し、統合までの理解と協力をいただき、平成26年3月23日に閉校式を実施し、戸多小学校と芳野小学校の統合が完了しました。

本来崎小学校については、平成27年4月の横堀小学校との統合に向け「神崎地区本来崎小学校区検討委員会」において検討を重ね、引き続き地域との協議を進めました。



●健全で効率的な行政経営の推進

◆幼稚園における3歳児保育の見直し

幼稚園対策協議会において検討を重ね、平成24年度をもって廃止しました。

◆適正な定員管理（人件費の削減）

平成25年4月までに483人まで削減することを目標に計画を進めてきましたが、平成28年度までに大量の職員が定年退職を迎えることから、職員の年齢構成の不均衡を緩和するため、目標を平成29年度に変更し適正な定員の管理を行うこととしました。なお、平成26年4月1日現在の職員数は487人となっています。

◆市債発行の抑制

市債（市の借金）の発行額を、公債費における元金償還額の範囲内に抑えました。

◆未利用財産の活用と処分

未利用の市有地について公売を実施するとともに、上菅谷駅や瓜連駅前市有地を有料駐車場として貸し出ししており、また市役所裏の1の閑調節池には太陽光発電施設を誘致することで財源の確保に努めました。

■財政健全化プラン推進計画

行財政改革により基金繰入をともなわれないなど、後年度の財政運営に悪影響を与えない収支バランスのとれた健全な財政運営の確立を図り、もって地方行政を取り巻く厳しい環境に対応した持続可能な自治体を形成することを目標に、平成21年度から平成25年度までの5年間、限られた財源を有効活用すべく計画を推進してきました。

その結果、平成25年度末現在では、財政調整基金は18億7千万円と積み増すことができましたが、東日

本大震災や少子高齢化などの影響により建設事業や下水道特別会計、介護保険特別会計などへの繰り出しが増えたことにより効果額としてはマイナスとなっています。

（注）事業補助金とは、それぞれの補助金の交付要件を満たした事業を実施した（する）市民・団体・事業所などに交付する補助金のことです
例…自治活動施設建設費等補助金、水田農業構造改革対策奨励補助金など

◆5年間の主な効果額（△は増加を表す）

実施項目		削減(収入)額
主な削減額	市債発行の抑制	9億3816万8千円
	職員の削減	3億2756万7千円
	各種団体補助金の見直し	7458万8千円
	外郭団体補助金の削減	1億7879万3千円
	事業補助金の削減(注)	1億4466万3千円
	借地料の見直し	2533万5千円
主収入額	特別会計繰出金の抑制	△13億4143万7千円
	広告収入の確保	612万8千円
	未利用財産の活用処分	2億4996万5千円

※行政改革大綱実施計画および財政健全化プラン推進計画の実施状況については、市ホームページ、図書館でご覧になれます

平成26年第4回那珂市議会定例会

11月26日～12月12日の17日間の会期で開催

市長提出議案は報告2件、条例の制定・一部改正5件、平成26年度補正予算14件、その他2件、合わせて23件について審議され、全議案について原案のとおり可決されました。



行政概要報告

■外部評価について

11月8日に中央公民館において、市民とともに効果的で効率的な行政改革を推進し、あわせて市職員の意識改革・資質向上を図るため、「市民参加型による外部評価」を公開の場において実施しました。外部評価委員会の判定結果は、評価対象の6事業すべてが「継続(見直し)」となっています。

この判定結果を受け、市の対応方針について検討を開始し、行政評価本部会議で決定後、速やかに公表していきます。

■市制施行10周年記念式典について

11月15日に、この10年の歩みを振り返り、これからの那珂市づくりに向けて市民と行政が共に考える機会となるよう「那珂市市制施行10周年記念式典」を中央公民館において開催しました。式典では、市表彰規則および10周年記念特別表彰規則に基づき、122人(自治功労賞6人、功労賞1団体28人、善行表彰3人、感謝状1人、特別表彰83人)を表彰しました。あわせて、那珂市名誉市民の親族4人に対し名誉市民章を贈呈し、「那珂市の名誉市民たち」と題した講演会を開催しました。

式典には、受賞者のほか市議会議長、茨城県知事、国会議員、県議会議員、

県内市町村長、議長をはじめとする来賓など、約350人が参列しました。

■水郡線全線開通80周年記念SLの運行について

水郡線全線開通80周年を記念して、茨城県、沿線市町(水戸市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、大子町)、JR東日本水戸支社などが連携し、水郡線でSLを運行することになりました。

運行日は、12月5日から7日までの3日間で、運行時間は、【往路】常陸大子駅8:26発→水戸駅10:31着、【復路】水戸駅11:58発→常陸大子駅14:18着となっております。往路、復路とも上菅谷駅に停車します。

■友好都市提携10周年記念式典について

10月11日、12日に、那珂市と横手市の友好都市提携10周年を記念し、記念式典・交流会・植樹祭が秋田県横手市で開催されました。

那珂市からは議員、各地区まちづくり委員会代表者など69人が参加し、記念式典時には、交流提携に尽力されたかたに対する表彰があり、那珂市では4人が表彰されました。

また、那珂市と横手市で両市の木である桜の苗木を交換しました。横手市では10月12日に植樹祭を行い、那珂市では10月15日に一の関ため池親水公園にて、議長とともに植樹式を行いました。

■男女共同参画啓発事業について

11月2日に、ダニエル・カール氏を講師に迎え、「ダニエルのすぐくあたりまえの男女共同参画」と題して、男女共同参画啓発事業「男(ひと)と女(ひと) 輝いて生きる講演会」を中央公民館にて開催し、181人の参加がありました。この事業は、茨城県男女共同参画推進条例に基づき、「男女共同参画推進月間」と定められている11月に、男女共同参画の実現に向け、男女共同参画社会づくりの意義を啓発するとともに、必要性について考えてもらう機会を提供することを目的としたものです。

■那珂聖苑火葬炉内の全体積替について

2号炉の火葬炉内耐火物全体積替修繕が9月30日に完了し、すべての火葬炉(3基)の耐火物全体積替修繕が完了しました。

■日本原子力研究開発機構への 嚴重注意文の手交について

那珂核融合研究所をはじめとする日本原子力研究開発機構の度重なる事故・トラブルに対し、9月19日、嚴重注意文を手交しました。

■株式会社伊藤園との災害時応 援協定の締結について

「災害時における飲料水の提供に関する協定」を、10月20日、株式会社伊藤園と締結しました。

■茨城県行政書士会との災害時 応援協定の締結について

災害時における被災者支援相談窓口の開設や会員の派遣を旨とする「災害時における支援協力に関する協定」を、10月30日、茨城県行政書士会と締結しました。

■臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について

平成26年4月からの消費税率引き上げ実施にともない、所得の低いかたや子育て世帯の負担を緩和するため、2つの給付金の申請受付を引き続き行っています。申請書審査完了後順次支払いを開始しており、1回目の支払いを10月2日に行いました。臨時福祉給付金については、12月4日の支払予定を含め6900人、子育て世帯臨時特例給付金については、12月10日の支払予定を含め3459人となっています。

■敬老行事について

9月16日、17日の両日にわたり、本年度の100歳到達者18人を訪問し、国、県からの褒状と記念品および市からの記念品を贈呈しました。さらに、市内最高齢者2人と米寿を迎えられた302人に、市からの記念品を贈呈しました。

また、9月7日から10月12日にかけて、8地区29か所で敬老行事が開催されました。出席者は市全体で2

359人でした。

■要援護者等の見守り活動協力に関する協定書の締結について

11月14日、要援護者（高齢者や障がい者など）が安心して暮らせる地域づくりと市民生活環境の改善を目的として、株式会社常陽銀行菅谷支店および瓜連支店と「要援護者等の見守り活動協力に関する協定書」の締結を行いました。

■いばらきヘルスロードウォーキング教室の開催について

10月15日に那珂総合公園において、市民に対してウォーキングの実践を支援するとともに、ヘルスロードの普及啓発を図るため、茨城県立健康プラザとの共催により「ウォーキング教室」を開催しました。今回は「市制施行10周年記念事業」として実施しました。

市内外から約130人の参加があり、筑波大学の田中先生から正しい歩き方などの講義を受けた後、那珂総合公園内のヘルスロードのコースを使用してウォーキングを体験しました。

■ゲートキーパー養成講座の開催について

民生委員を対象に、自殺予防を目的としてゲートキーパー養成講座を実施しました。講座は10月に、地区コミュニティセンターで3回に分け

て行い、93人が受講しました。

■第3回那珂市の農業を考える の開催について

11月20日、総合センターらぼーるにおいて「第3回那珂市の農業を考える」を開催しました。那珂市農業後継者クラブの会員による「我がふるさとを守れ！あれから7年の挑戦」と題した発表と、元気ナカむらづくり塾生など6人のパネラーによるパネルディスカッションを行い、「心でつながる元気で美味しいナカ」をメインテーマとして、地域の将来像などについての討論が行われ、70人が来場しました。

■那珂市特産品ブランド認証品の決定について

産業の振興と元気で活力あるまちづくりの取り組みの一つとして、「那珂市特産品ブランド認証制度」を実施しています。

市特産の農作物や農産物を使用した加工食品を対象に、7月1日から31日までの期間に募集を行い、9商品の応募がありました。応募された商品を「那珂市特産品ブランド認証委員会」が、那珂市らしさなどの認証基準により審査をし、「那珂市特産品ブランド推進協議会」が那珂市第1号となる認証品の6商品を決定しました。

認証品については、「広報なか」や

「市観光協会ホームページ」などへの掲載、認証品パンフレット作成、市役所本庁「特産品展示コーナー」への展示、各種イベントにおける広報などを通してPR活動を行っていきます。

■両宮排水路整備事業について

両宮排水路中間部改修工事を9月に発注しました。

■安心安全対策両宮排水路整備事業について

両宮遊歩道整備工事を9月に発注しました。

■上菅谷駅前地区まちづくり事業について

上菅谷駅前公衆トイレ新築工事を10月に、上菅谷駅前歩道舗装（第1工区）工事を9月に発注しました。

■水道施設に関する工事について

古徳地区老朽管更新（第1工区）工事を9月に、東木倉深井戸新設（その1）工事、菅谷地区老朽管更新（第1工区）工事および後台地区配水管移設（第5工区）工事を11月にそれぞれ発注しました。

■水道料金の納付について

水道料金などについて10月から、24時間365日いつでも納付可能なコンビニ収納を開始し、市民サービスの向上を図りました。

■公共下水道事業について

業務委託については、戸多・中里地区管路施設基本設計を10月に発注しました。

請負工事については、後台地区汚水管布設(第5工区)工事、後台地区汚水流量計設置(第1工区)(第2工区)工事を10月に、門部地区汚水管布設(第8工区)工事を11月にそれぞれ発注しました。

■農業集落排水事業について

請負工事については、鴻巣Ⅱ期地区管路施設幹線4号第5工区工事および鴻巣Ⅱ期地区マンホールポンプ設置第7工区工事を10月に、それぞれ発注しました。

■消防業務について

消防訓練指導については、9月27日から11月21日までに事業所や学校などを対象として15回行い、2121人が参加して、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、応急手当の普及のため、普通救命講習会を3回行い、68人が受講しました。救命入門コースは3回行い、69人が受講しました。

火災出場件数については、建物1件、救急出場件数については、急病147件、交通事故41件、その他74件で合計262件となっています。

9月28日に、第65回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会が常

陸大宮市で開催され、第8分団第2

部が小型ポンプの部で優勝、第7分団第1部が自動車ポンプの部で3位入賞しました。

また、10月17日に更新した消防ポンプ自動車、第5分団第1部(鴻巣)に配備しました。

■東日本大震災について

市民の放射線に対する不安を解消するため、公共施設などにおける空間放射線量および水道水内の放射性物質濃度の測定を引き続き実施しています。簡易測定器により、保育所や学校の給食食材および市内で生産

された農畜産物を独自に検査し、食

における安全の確保と風評被害の防止に努めています。これらの測定結果については、市ホームページや広報紙などで公表しています。

市内および県内農産物の放射性物質検査については、原木しいたけを除いたすべての農産物で未検出または基準値以下であり、出荷制限は解除されています。

被災されたかたを支援するため、引き続き被災者生活再建支援制度による国の支援金および県・市の災害見舞金を支給しており、11月21日現在の支給状況は、次のとおりです。

国の支援金は、全壊が199件、大規模半壊が9件、合計208件で総額2億6425万円です。県の災害見舞金は、半壊179件537万円です。市の見舞金は、住家の全壊が46件、半壊が242件、非住家の半壊以上が278件、合計566件で総額1948万円です。

平成26年11月26日

那珂市長 海野 徹

市長提出議案

全議案可決

◎報告

専決処分について(損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定)/専決処分について(平成26年度那珂市一般会計補正予算(第4号))

◎条例の制定・一部改正

那珂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例/那珂市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例/那珂市教育委員会教育長の給与及び勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例/那珂市立小学校・中学校設置条例の一部を改正する条例/那珂市いじめ問題対策連絡協議会等条例

◎平成26年度補正予算

平成26年度那珂市一般会計補正予算(第5号)/平成26年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)/平成26年度那珂市下水道事業特別会計補正予算(第3号)/平成26年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算(第2号)/平成26年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)/平成26年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)/平成26年度那珂市水道事業会計補正予算(第2号)/平成26年度那珂市一般会計補正予算(第6号)/平成26年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)/平成26年度那珂市公園墓地事業特別会計補正予算(第1号)/平成26年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算(第3号)/平成26年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)/平成26年度那珂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)/平成26年度那珂市水道事業会計補正予算(第3号)

◎その他

市道路線の認定について/市道路線の廃止について

那珂市水道事業会計

問い合わせ

水道課総務グループ
(瓜連支所)

☎296-1941

平成25年度の決算状況についてお知らせします

水道事業は地方公営企業として位置付けられています。そのため、経理はその企業活動を正確に把握する必要性があり、営業に関わる活動を損益取引（収益的収支）と、営業活動以外における資本の増減を資本取引（資本的収支）として明確に区分する複式簿記を採用しています。

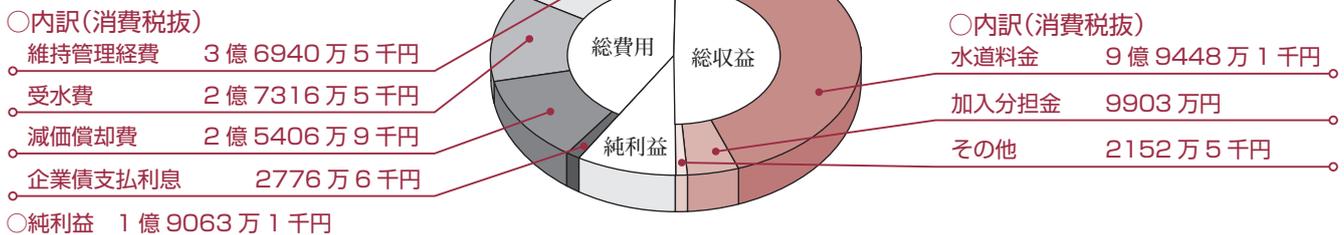
収益的収支、資本的収支それぞれについて、「広報なか平成26年11月号」9ページにてお知らせした市水道事業会計の決算状況の詳細を説明します。

◆収益的収支

地方公営企業の経常的企業活動にともない、年度内に発生すると見込まれるすべての収益とそれに対応するすべての費用をいうものです。したがって、減価償却費のように現金支出をとまわらない支出についても費用に含まれます。

総事業費 9億7030万6千円（消費税込）
9億2440万5千円（消費税抜）

総収益 11億7042万8千円（消費税込）
11億1503万6千円（消費税抜）



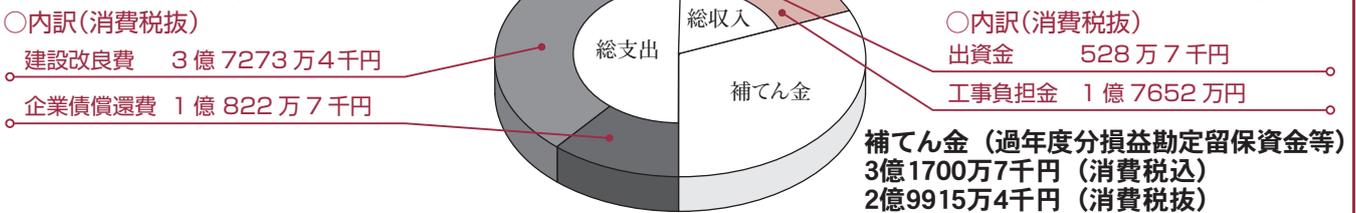
水道事業は皆さまからの水道料金、加入分担金を主な収入として運営しています。費用は、維持管理に係る費用、水を購入する費用、減価償却の費用などになります。

◆資本的収支

施設の整備や企業債の償還元金などの支出、これに要する資金としての企業債収入なども資本的収支に含まれます。

総支出 4億9881万4千円（消費税込）
4億8096万1千円（消費税抜）

総収入 1億8180万7千円（消費税込）
1億8180万7千円（消費税抜）



収入は、出資金および公共下水道などの工事にともなう水道管移設費用の負担金です。支出は、建設改良費および建設改良にともない借り入れた企業債の償還に係る費用です。支出が収入を上回るため、不足分は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

◆これからの水道

水道事業は、安全かつより安定した水の供給を図るため、既存施設の適正な維持管理に努め、また、配水管網整備計画に基づき、配水管の整備および老朽管の更新を引き続き行います。

今後、大きな事業としては、平成27年度から木崎浄水場のⅠ期更新事業（改修）に着手し、配水池の築造工事を進め、平成34年度の完成に向けて計画的に進めていきます。また、厚生労働省が策定した「新水道ビジョン」を受けて、取り組みの目指すべき方向性として「安全」・「強靱」・「持続」を達成するため、「那珂市水道事業ビジョン」を平成26年度内に策定し、確実に進めてまいります。

「安全」 いつまでも安心して飲める、安全で信頼される水道

「強靱」 災害に強く、たくましい水道

「持続」 いつまでも皆さまの近くにありつづける水道

■児童扶養手当と公的年金の併給ができるようになりました

これまで、公的年金（遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金、遺族補償など）を受給しているかたは児童扶養手当を受給できませんでしたが、平成26年12月以降は、年金額が児童扶養手当より低いかたは、その差額分の児童扶養手当を受給できるようになりました。児童扶養手当の概要については市のホームページまたは広報なか平成26年8月号10ページをご覧ください。

■今回の改正により新たに手当を受け取れる場合

- お子さんを養育している祖父母などが、低額の老齢年金を受給している場合
- 父子家庭で、お子さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合
- 母子家庭で、離婚後に父が死亡し、お子さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合 など

【参考】児童扶養手当の月額（平成26年4月～）

- 子ども1人の場合
 - 全部支給 4万1020円
 - 一部支給 4万1010円～9680円（所得に応じて決定）
- 子ども2人以上の加算額
 - 2人目 5000円
 - 3人目以降1人につき3000円

■児童扶養手当は申請の翌月分から支給開始となりますが、これまで公的年金を受給していたことにより児童扶養手当が受給できなかったかたのうち、平成26年12月1日に支給要件を満たしているかたが、平成27年3月31日までに申請した場合は、平成26年12月分の手当から受給できます。平成26年12月～平成27年3月分の手当は、平成27年4月に支払われます。

※児童扶養手当を受給するためには申請が必要です。該当すると思われるかたはこども課までご相談ください

い
せ
問
合
わ
せ

こども課子育て支援グループ
☎298・1111
(内線252～254)



宝くじ社会貢献広報事業 宝くじ助成金で防災資機材を整備

この事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として行っているもので、地域コミュニティ活動の充実と強化を図ることを目的に、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりなどに助成をするものです。
今年度は、五台地区の田向自治会と東木倉自治会がこの事業により防災資機材を整備しました。

田向自治会



災害時に生活用水を確保するため、防災活動の拠点となる田向公民館に発電機と井戸ポンプを整備しました。また、そのほかにも避難用テント、照明器具などの防災資機材も整備し、これらを使った防災訓練も実施しました。



東木倉自治会

災害時に生活用水を確保するため、手押し井戸ポンプとその屋根を整備しました。



い
せ
問
合
わ
せ

防災課防災グループ
☎298・1111
(内線442・443)

平成27年 那珂市消防出初式

新春恒例の「平成27年那珂市消防出初式」を1月11日、那珂総合公園多目的広場で開催しました。

消防団員、自衛消防隊員、消防職員など約500人が参加し、張りつめた空気の中、地域防災への決意も新たに士気の高揚を図りました。

また、永年勤続功労の消防団員などの表彰も行われました。

さらに、市立幼稚園児の幼年消防クラブの皆さんが、かわいらしい踊りを披露し、式典を盛り上げてくれました。



◆平成27年新春那珂市消防出初式(那珂総合公園)

◎表彰、感謝状を受けたかた

(順不同・敬称略)

- 茨城県知事表彰
永年勤続功労章を授与する
職団員(30年以上)
那珂市消防団副団長 寺門利昭／同第8分団長 萩野谷孝一／那珂市消防本部消防司令後藤健仁
- 茨城県消防協会会長表彰
優良分団表彰
那珂市消防団第7分団
永年勤続功労章
那珂市消防団副団長 寺門利昭／同第8分団長 萩野谷孝一
- 親子消防団員表彰
那珂市消防団第2分団第2部団員 清水隆男／清水竜太郎
那珂市消防団長表彰
那珂市消防団長表彰
感謝状を授与する団員(小型ポンプ操法の部)
那珂市消防団第8分団第2部(団員秋山優／塙勁亮／先崎一步／君嶋祥光／引田勤)
- 茨城県知事表彰
永年勤続功労章を授与する
職団員(20年以上)
那珂市消防団第5分団第3部班長 綿引正俊／同第3分団第1部団員 石井肇／同第8分団第1部団員 富山豪／那珂市消防本部消防司令補 宮崎仁知／同 益子宜丈／同 額賀定里／同
- 永年勤続消防職団員妻女
那珂市消防団副団長寺門利昭妻女 寺門律子／同第8分団長萩野谷孝一妻女 萩野谷秀子／那珂市消防本部消防司令後藤健仁妻女 後藤理恵
- 感謝状を授与する団員(ポンプ車操法の部)
那珂市消防団第7分団第1部 部長檜山勝広／班長 横田寛／助川宏州／団員 三田浩之／杉山和夫／助川秀樹

宝くじの社会貢献広報事業 による助成金で備品を整備

消防出初式開催にとまない、宝くじ助成金で整備した煙体験資機材(煙体験ハウス・煙発生器)により煙体験を実施しました。消防出初式に参加した幼年消防クラブを始め、たくさんの人たちに煙の恐ろしさを体験していただき、防火意識の向上を図りました。

この助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しており、地域社会の発展や住民福祉の向上に寄与するために実施しているものです。



■煙体験ハウス(写真上)
煙発生器(写真下)



■煙体験の様子

わけ
 ～市民の声～私が健診を受ける理由

平成25年度に市の健診を（どれか1つでも）受けたかたは8721人でした。毎年健診を受けているかた、久しぶりに受けたかた、初めて受けたかたなどさまざまですが、今回は今年度に健診を受けたかたに「健診を受ける理由」をお聞きしました。



Aさん
 (46歳・女性)

今まで大きな病気もしていないし、農業が忙しいことや会場に行くのが面倒で健診案内や再受診の案内は無視していた。今年、保健センターの職員が自宅に来て、健診を受けてくださいと勧められた。農作業もひと段落し、天気も悪く農業ができない日に、軽い気持ちで生まれて初めて健診を受けた。会場にはたくさんの方がいて驚いたが、病院より短時間で簡単に受けられ、「な～んだ簡単なんだ」とびっくり。これからは毎年受けようと思う。

両親2人とも50代で亡くなったので、自分も早死にするだろうと思っていた。職場で健診を受けるうち、両親は、早期に発見すれば助かった病気だったのではないかと思うようになり、毎年健診を受けるようになった。

興味半分で吸い始めたタバコもいつかやめようと思っていたが、震災で日本製のタバコが無くなり、外国製を吸ったら夜間咳が止まらなくなり、このまま死ぬのかと思いきっぱりやめた。タバコをやめたら咳が出なくなり身体が楽になった。

しかし、晩酌が美味しくなり、さらにつまみ食いなどで体重が増え、腹も出てきた。保健師の指導を受けると、自分の食べたものがすぐ健診データに出ることが分かり、健診の結果表を見ることに関心が向くようになった。また、保健師や栄養士から指導を受けると自分の生活の確認もでき、指導を受けるのが楽しみになった。



Bさん
 (65歳・男性)



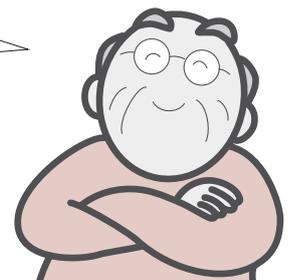
Cさん
 (73歳・女性)

40代から市の健診を毎年受けている。更年期以降に血圧が高くなり、どうすればいいのか悩んでいたが、毎年健診を受けてチェックすればいいんだと思ってひと安心。太ると血圧も高くなることを身をもって体験した。1年に1度の健診は自分の身体のチェックの日。健診を受けるのが楽しみだ。

20年前、たまたま胃がん検診でバリウム検査をした。結果が郵送されてきたが、開封せず妻にも結果を見せなかった。その後、「精密検査を受けてください」と保健師が自宅に来たので、たいしたことはないと思っていたが、市内の病院で胃カメラ検査をした。

検査の結果、「ポリープがある」と手術を勧められたが、家族から「念のため別の病院でも診てもらった方がいい」と言われて総合病院を受診した。

そこで「放っておいたらがんになる」と医師から告げられ、10日後に入院して胃を2/3切除した。手術後は、食事は6回に分けて食べる以外生活は変わりなかった。現在はアルコールも飲み、食事3回食になった。農業も機械化により身体への負担もない。それもこれも、市の予防医療のおかげと思っている。ぜひ、たくさんのかたに健診を受けて欲しい。



Dさん
 (77歳・男性)

那珂市内の放射線量の測定状況をお知らせします

市内の小中学校、幼稚園、都市公園、保育所（園）、体育施設などで放射線量を測定しています。また、市ホームページにも掲載しています。

○小中学校、幼稚園

担当課および測定場所	測定値	測定日
学校教育課	本米崎小学校	0.079 1月9日
	横堀小学校	0.066 1月7日
	額田小学校	0.062 1月5日
	菅谷小学校	0.067 1月8日
	菅谷東小学校	0.069 1月8日
	菅谷西小学校	0.080 1月7日
	五台小学校	0.066 1月5日
	芳野小学校	0.078 1月5日
	木崎小学校	0.067 1月5日
	瓜連小学校	0.078 1月5日
	横堀幼稚園	0.065 1月6日
	額田幼稚園	0.067 1月5日
	菅谷幼稚園	0.069 1月5日
	菅谷西幼稚園	0.086 1月5日
	五台幼稚園	0.077 1月6日
	芳野幼稚園	0.069 1月9日
	那珂第一中学校	0.072 1月6日
	那珂第二中学校	0.065 1月5日
	那珂第三中学校	0.075 1月6日
	那珂第四中学校	0.048 1月5日
	瓜連中学校	0.069 1月7日
	茨城学園	0.079 1月9日
	ナザレ幼稚園	0.060 1月9日
	さいせい幼稚園	0.075 1月7日
大成学園幼稚園	0.085 1月7日	

○公共施設

担当課および測定場所	測定値	測定日
健康推進課	保健センター(ひだまり)	0.095 1月9日
	中央公民館	0.081 1月8日
生涯学習課	図書館	0.076 1月4日
	那珂総合公園	0.090 1月7日
	歴史民俗資料館	0.088 1月6日
	ふれあいの杜公園	0.094 1月7日
市民協働課	ふれあいセンターよこぼり	0.083 1月14日
	ふれあいセンターごだい	0.092 1月14日
	ふれあいセンターよしの	0.079 1月14日
	総合センターらぼーる	0.094 1月14日
	戸多地区交流センター	0.069 1月8日
那珂聖苑	那珂聖苑	0.094 1月5日
都市計画課	中谷原公園	0.079 1月13日
	宮の池公園	0.070 1月13日
商工観光課	一の関ため池親水公園	0.081 1月14日
	静峰ふるさと公園	0.085 1月14日

○保育所、保育園など

担当課および測定場所	測定値	測定日
こども課	菅谷保育所	0.076 1月6日
	額田保育所	0.068 1月8日
	ゆたか保育園	0.083 1月6日
	かしま台保育園	0.065 1月6日
	ごだい保育園	0.081 1月5日
	瓜連保育園	0.069 1月5日
	子育て支援センター	0.075 1月8日

○測定値の単位は、すべて、マイクロシーベルト/時間です。

○小中学校、幼稚園、保育所（園）は地表面から50cmの高さでの測定値で、公共施設は地表面から1mの高さでの測定値です。

○測定結果は、すべて国の除染などの基準を下回っています。

○その他の高さの測定値は市ホームページをご覧ください。

●水道水の環境放射能水準調査結果

12月15日から1月14日までの期間、市内各浄水場（後台、木崎、瓜連）および芳野配水場の水道水の放射性物質（放射性ヨウ素および放射性セシウム）の測定結果は、いずれも不検出となっています。

各浄水場および芳野配水場の測定は週1回行っています。詳細は、市ホームページに掲載しています。

【日常生活で少しでも放射線を少なくできる方法】

- 校庭・園庭などの屋外での活動後には、手や顔を洗い、うがいをする。
- 土や砂を口に入れないように注意し、口に入った場合には、うがいをする。
- 登校・登園時、帰宅時に靴の泥をできるだけ落とす。
- 土ぼこりや砂ぼこりが多いときは、窓を閉める。

問 那珂市役所
 学校教育課 内線8274
 健康推進課 内線531
 生涯学習課 内線8282
 市民協働課 内線263
 都市計画課 内線355
 商工観光課 内線245
 こども課 内線252
 水道課 内線8365
 那珂聖苑 ☎352-0073



選挙いろいろ Q & A

問い合わせ

那珂市選挙管理委員会
☎ 298・1111 (内線514・515)

このコーナーでは、市民の皆さんが選挙について抱いている疑問や、知りたいことについてお答えしていきます。

Q 衆議院議員と参議院議員での比例代表選挙の違いはあるの？

A 衆議院の選挙は「政党名」を書いて投票しますが、参議院の選挙では「候補者の個人名」または「政党名」を書いて投票します。

◆比例代表選挙の当選人の決定

当選人の決め方	投票方法
<p>各政党の総得票数に応じて、ドント方式により、政党に議席を比例配分します。</p> <p>←</p> <p>政党が届け出た候補者名簿の順番により当選人が決まります。(拘束名簿式)</p>	<p>「政党名」を書いて投票します。</p> <p>衆議院議員比例代表選挙 (拘束名簿式)</p>
<p>各政党の総得票数に応じて、ドント方式により、政党に議席を比例配分します。</p> <p>←</p> <p>政党が届け出た候補者名簿の中で、候補者個人名の得票が多い順に当選人が決まります。(非拘束名簿式)</p>	<p>「候補者(名簿登録者)の個人名」または「政党名」を書いて投票します。</p> <p>参議院議員比例代表選挙 (非拘束名簿式)</p>

◆ドント方式の例

政党名	A党	B党	C党	D党
総得票数	1000	700	600	280
1で割る	1000 (1)	700 (2)	600 (3)	280 (8)
2で割る	500 (4)	350 (5)	300 (7)	140
3で割る	333 (6)	233	200	93
4で割る	250	175	150	70
5で割る	200	140	120	56
当選者数	3人	2人	2人	1人

※ () 内は定数8に対しての順位

【例】

- 議席数が8議席で、比例代表選出議員選挙に、A党、B党、C党、D党が届け出た場合
- 総得票数が、A党：1000票、B党：700票、C党：600票、D党：280票

Q ドント方式って何？

A ドント方式とは、比例代表選出議員における議席配分の計算方法の一つで、現在、日本の衆議院議員比例代表選出議員選挙、参議院議員比例代表選出議員選挙の議席の配分の考え方として採用されています。各政党の総得票数をそれぞれ1、2、3、4、という正数で順次割っていき、割った得票数の大きい政党順に議席を配分します。得票数の多い政党にも少ない政党にも、比較的公平に議席を割り当てられるのが特徴です。



◆新着本案内

【一般書】

『中村元の仏教入門』／中村元 著
 『子どもたちの未来を考えた』／乙武洋匡 著
 『蒙古襲来』／服部英雄 著
 『古地図が語る大災害』／本渡章 著
 『ご破算で願ひましては』／梶よう子 著
 『インドクリスタル』／篠田節子 著
 『キミの名前』／朱川湊人 著

【児童書】

『どうするジョージ!』／クリス・ホートン 作・木坂涼 訳
 『眠れる森の美女』／ペロー 原作・藤本ひとみ 文
 『太陽の草原を駆けぬて』／ウーリー・オルレブ 作・母袋夏生 訳
 『トルロとにひきのいたずらこやぎ』／松居スーザン 作・出久根育 絵
 『林家木久扇のみんなが元気になる学校寄席入門2』／林家木久扇 監修・こどもくらぶ 編・著

★『九年前の祈り』／

小野正嗣 著／講談社

35歳になるシングルマザーのさなえは、幼い息子をつれて、海辺の小さな集落に戻ってきた。息子を持って余しながら、さなえが懐かしく思い出したのは、9年前の「みっちゃん姉」の言葉だった…。表題作など全4作を収録する。

(出典：TRC MARC)



★『おぞうにくらべ』／

宮野聡子 作／講談社

お正月、おばあちゃんの家へ行ったきみちゃんは、いろいろなお雑煮にであいました。お友達のどの家にも、大切な味があったのです。行事(お正月)と食べ物(お雑煮)のよみきかせ絵本。見返しにお雑煮のイラストあり。

(出典：TRC MARC)



図書館カレンダー

3月

March

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

休館日

おはなし会

1日・15日
午後2時～
19日
午前10時30分～
27日
午後3時～



ヘルスマイトさんが作る健康料理 ①③

茨城県の郷土料理

今月のヘルスマイトさん

那珂市食生活改善推進員
連絡協議会

こども食部会の皆さん

■コメント

茨城県の郷土料理を紹介してみました。時にはなつかしい味に触れてみてはいかがでしょうか。

Cook

■材料(4人分)

●じゃがいものあやめ団子
 じゃがいも……400g
 片栗粉……120g
 水……75ml
 砂糖……70g
 しょうゆ……50ml
 みりん……5ml
 くず粉15gを同量の水
 でといたもの

●納豆の春巻き
 納豆……100g
 青じそ……8枚
 春巻きの皮……8枚
 プチトマト……8個
 サラダ菜……8枚
 ブロッコリー……40g
 長ねぎ……80g
 ねぎがらし、揚げ油……適宜
 しょうゆ……小さじ1

●切り干し大根の中華和え
 切り干し大根、しめじ、
 人参、きゅうり……各40g
 糸こんにゃく……80g
 しょうゆ……大さじ2
 ごま油……小さじ1
 ラー油……適宜
 米酢……小さじ4
 砂糖……小さじ4

■作り方

●じゃがいものあやめ団子【茨城町】(1人分 270kcal/塩分2.2g)

- ①よく洗った皮付きのじゃがいもを煮る。煮あがったら皮を手早くむきボウルに入れ、つぶして片栗粉を入れる。
- ②①をすり鉢に移し、すりこぎ棒で粘りが出るまでよくする。
- ③②をひと口大に丸め鍋でゆでる。浮き上がったらザルにあげ串にさす。
- ④Aのたれの材料を鍋に入れて、火を通しながら混ぜる。

●納豆の春巻き【つくばみらい市(旧伊奈町)】(1人分 217kcal/塩分0.2g)

- ①納豆、長ねぎは細かく刻み、ねぎがらしとしょうゆを混ぜ合わせ8等分し、春巻きの皮に青じそをのせて包み油で揚げる。
- ②ブロッコリーは塩ゆでし、プチトマト、サラダ菜と盛り付ける。

●切り干し大根の中華和え【取手市】(1人分 84kcal/塩分1.2g)

- ①切り干し大根はよく洗い水でもどしてザク切り、しめじはいしづきを取り小房に分け、人参は1cm幅の短冊切りにする。
- ②①の材料をさっとゆでる。
- ③きゅうりは千切りにし、糸こんにゃくは下ゆでしてザク切りにする。
- ④Bの調味料を混ぜ合わせ、よく水気を切った材料を加え合わせる。

第52回那珂市冬季駅伝競走大会



12月7日、那珂総合公園および周辺道路で那珂市市制施行10周年記念協賛事業 第52回那珂市冬季駅伝競走大会が行われました。

澄み切った冬の青空の下行われた開会式では、木崎小学校の金子大翔さん、海野伊吹さんによる選手宣誓がありました。レースでは、日ごろの練習の成果を発揮し、全149チームが見事完走しました。大会結果は次のとおりです。(順位・チーム名)

- 【小学校男子】①菅谷東小 A ②菅谷小 A ③瓜連小 A
- 【小学校女子】①菅谷東小 A ②瓜連小 ③菅谷小 A
- 【中学校男子学校対抗】①那珂一中 (コース新記録) ②那珂四中 ③那珂二中
- 【中学校女子学校対抗】①那珂二中 ②那珂四中 ③那珂一中
- 【中学校男子部活対抗】①那珂一中テニス部 A (コース新記録) ②那珂一中テニス部 B ③那珂一中野球部 A
- 【中学校女子部活対抗】①那珂二中テニス部 A ②那珂二中バレー部 A ③那珂二中テニス部 B
- 【一般】①那珂市消防 A (コース新記録) ②那珂高校野球部 A ③那珂高校野球部 B

文化財愛護協会が説明板設置



市文化財愛護協会(會澤義雄会長)の史跡天然記念物部会の皆さんが、日ごろの活動の一環として、伝説「四匹の狐」の長男狐を祀る「源太郎稲荷社」(常福寺裏手の瓜連城跡土塁上) および親孝行者として水戸藩主から表彰された「善重・与重兄弟」の顕彰碑(後台野中)にそれぞれ手作りの解説板を設置しました。同会の皆さんは、「心を和ませる場所としてぜひ訪ねて欲しい」と話していました。

瓜連小学校周辺環境整備



1月17日、瓜連小中学校環境整備連合会(三輪政夫会長)の皆さんが、瓜連小学校フェンス沿い、春日川沿い壁面および瓜連中学校フェンス沿いの除草作業を行いました。当日は、連合会構成団体からボランティアが約20人参加し、繁茂していた雑草の除草や枝打ちが行われました。同連合会では、小中学生にとって気持ちのいい環境を保つため、今後もこのような活動を継続していくそうです。



ねんりんピックで全国第3位

10月4日から6日まで行われた「ねんりんピック栃木2014剣道交流大会」に蓮田保雄さん(平野)が茨城県チームの先鋒として出場し、全国68チーム中第3位となりました。中学生から剣道を始め、現在も週3回稽古を続けている蓮田さんは、「剣道は生涯スポーツであり一生続けていきたい。また、精神を鍛えたり礼儀を身に付けることができる剣道の魅力を子どもたちに伝えたい」と今後の目標を話してくれました。



練習の成果を存分に発揮

11月1日から3日まで長崎県で開催された「第14回全国障害者スポーツ大会長崎がんばらんば大会」に茨城県代表として水泳競技に出場した川又圭佑さん(写真中)、武田颯斗さん(写真左)が12月3日、海野市長に出場報告に訪れました。2人は毎週1回常陸太田市のプールで練習し、大会に臨みました。川又さんは「メダルが取れてうれしかった」、武田さんは「平常心で臨めた」と感想を話していました。



芳野地区新春の集い

1月18日、ふれあいセンターよしにおいて、芳野地区まちづくり委員会主催の「芳野地区新春の集い」が開催されました。新春の集いには多数のかたが出席し、新年のあいさつを交わしました。アトラクションとして加藤靖敬さん(飯田)のグループによるマジックショーが行われ、人体入れ替わりのイリュージョンには、会場中から驚きの歓声が上がっていました。



上宮寺で消防訓練(文化財防火デー)

1月26日の文化財防火デーの取り組みとして1月22日、上宮寺(本米崎)で消防訓練を実施しました。訓練は上宮寺本堂から出火したという想定で、119番通報、重要文化財の搬出、初期消火の訓練を行うとともに、東消防署、消防団が出動し消火活動を行いました。訓練終了後は、消防署職員が消火器の使い方、説明のうち、消火器を実際に使って消火訓練を行いました。

★火災・救急の状況★

(平成26年12月)

- 火災件数
3件 (本年累計26件)
- 救急出場件数
169件 (本年累計1,955件)
- ※救急出場件数が増加しています。真に緊急を要するかのために、救急車の適正利用をお願いします
- 問い合わせ／那珂市消防本部
☎295-2111

★事件・事故の発生状況★

(平成26年中)

- 那珂市の交通事故
人身交通事故 325件
負傷者 422人
死者 2人
- ※暗くなる前から反射材を身に付けましょう！
- 那珂市の犯罪
刑法犯認知件数 517件
うち 空き巣 31件
自動車盗 25件
自転車盗 72件
- ※防犯は 鍵かけ 声かけ 心がけ

お詫びと訂正

広報なか1月号(No.120)5ページに掲載しました市制施行10周年表彰式典「受賞者および功績概要、感謝状贈呈者」の「市制施行10周年記念特別表彰者」名に脱字がありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正します。
(正) 武藤 昇さん(元消防団員)

ご協力ありがとうございます

善意銀行へ

11月15日～1月14日(敬称略)

あおい会	4,244円
野木利三郎	24,000円
茨城よしと歌謡愛好会	56,694円
切手・テレカボランティア	ポピー
	5,597円
水戸友の会	5,000円
匿名	1,294円
飯田芳陽会	7,831円
水戸ヤクルト販売(株)那珂センター	
	わたがし機1台



茨城よしと歌謡愛好会



水戸ヤクルト販売(株)那珂センターの皆さん

※善意銀行の寄付は、那珂市社会福祉協議会でお受けしています
☎229-0309

＊人の動き＊

那珂市の人口(1月1日現在)

※()内は前月比

男	27,460人	(+1)
女	28,319人	(-19)
計	55,779人	(-18)
世帯数	21,830世帯	(+17)

- 出生 32人 (12月1日～31日)
- 死亡 52人

＊国保ミニ情報＊

- 那珂市国保の加入者数 15,394人
(平成26年12月末現在・前月比38人減)
- 那珂市国保が医療費の一部として支払った金額 3億3,873万円
(平成26年12月・前月比1,411万円増)
- ※皆さんの日ごろの健康づくり、病気予防の心がけが医療費の増加、ひいては国保税の増額を抑えることにつながります。ご協力をお願いします

＊今月の納税＊

- 固定資産税・都市計画税 4期
- 国民健康保険税(普通徴収) 8期
- 後期高齢者医療保険料(普通徴収) 8期
- 介護保険料(普通徴収) 6期

納期限：3月2日

■市税の納付は口座振替で

市税の納付には、便利で確実な口座振替制度がありますので、どうぞご利用ください。

詳細については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ／収納課収納グループ
☎298-1111 内線173・174



●市役所の電話番号
☎298-1111 (代表)

●ホームページ URL (携帯可)
http://www.city.naka.lg.jp

●メールアドレス
hisho-k@city.naka.lg.jp

●おしらせ版
市では、「広報なか」のほかに、「おしらせ版」(月2回)を発行しています。このコーナーではその一部を掲載していますが、「おしらせ版」も併せてご覧ください。

那珂市民憲章

わたしたち那珂市民は、那珂・久慈の清らかな流れと豊かな緑に恵まれた郷土を愛し、市民としての誇りを持ち、明るく住みよいまちをめざします。

- 一 すこやかな心と体をつくりましょう
- 一 伝統を大切にし教養をふかめましょう
- 一 助け合い思いやる心をもちましょう
- 一 きまりを守り安全を心がけましょう
- 一 自然を愛し資源をいかしましょう

法律相談

日時/3月10日(火) 13:00~17:00
24日(火) 13:00~16:00

場所/市役所(本庁) 1階市民相談室

対象者/市内に住所を有するかた

相談員/弁護士

申込方法/電話または窓口で事前に予約してください。

費用/無料(相談時間1回20分)

その他/同じ事案について再度の相談はご遠慮ください。

申し込み・問い合わせ/

秘書広聴課市民相談グループ

☎298-1111 内線117

人権・行政相談を開設します

日時/3月13日(金)

10:00~正午

13:00~15:00

場所/那珂市役所(本庁)

1階相談室(人権相談)

1階ロビー(行政相談)

開設相談/人権を侵害されている問題や家庭内のもめごとなど(人権相談)、

国の行政機関などが行っている仕事についての苦情や意見要望(行政相談)

相談員/人権擁護委員、行政相談委員

問い合わせ/

秘書広聴課市民相談グループ

☎298-1111 内線117

心配ごと相談

日時/3月4日(水)、11日(水)、
18日(水)、25日(水)

9:00~15:00

場所/

総合保健福祉センター「ひだまり」相談室

問い合わせ/

那珂市社会福祉協議会(瓜連支所隣分庁舎内)

☎229-0309



3月の休日当番医

- 1日 鈴木呼吸器科内科 (中台) ☎353-2811
- 8日 瓜連慶友整形外科 (古徳) ☎296-1116
- 15日 小豆畑病院 (菅谷) ☎295-2611
- 21日 小宅内科医院 (菅谷) ☎298-0050
- 22日 あいざわ循環器内科クリニック (竹ノ内) ☎229-1230
- 29日 ののがき脳神経外科クリニック (中台) ☎352-0555

■診療時間/9:00~11:30

※受診の際、必ず当該医療機関へ電話で問い合わせください

※診療時間外は、「茨城県救急医療情報コントロールセンター」(☎241-4199)、または「那珂市消防本部」(☎295-2111)へお問い合わせください。119番は「緊急事態」のための電話です。安易な利用は避け、適正利用にご協力ください

公民館まつり実行委員会バザー・体験部会が寄付



12月26日、公民館まつり実行委員会バザー・体験部会より22,360円が寄付されました。11月21日から23日に開催された公民館まつりで「さざれ教室(ビーズアクセサリー)」「エコクラフトの会」「ラベンダーの会(手芸)」の各団体がバザーや体験教室などを行い、その収益金を寄付いただきました。市では有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

戸籍のまどでは、新生児と亡くなられたかたの氏名などを掲載していますが、不正使用や目的外使用防止の観点から、ホームページ上での掲載はいたしませんのでご了承ください。



【俳句】瓜連かつらぎ俳句会

小豆粥卒寿の姑よ健やかに
 爺と孫息の合つてる福は内
 瀬の調べ子守唄とし山眠る
 山眠る 咳く鳩の声のして
 一畝の冬菜で足りる 俵び住まい
 寒空に納豆加工わらの友
 何時までも消えぬ雪路粉合わす
 撓う竹雪の重みをはじきけり
 氷壁の中にて水の生きて居り
 マフラーを巻けば吟行気分かな
 早春やター坊のピカピカ三輪車
 日脚伸ぶ障子に映る薄明かり

井坂光位 栗原富久 堀口白流 飯島カチ子 堀口泉流 萩野谷ヨシ子 栗原三枝 鈴木三風 真崎一耕 長谷川和希子 秋野三峰 木内晴絵

【短歌】那珂短歌会 片岡明選

浮世絵の切手の下にそぐわないうさぎがおりぬしらぬ顔に
 雨降るも濁らぬ奥入瀬溪流に見入り幾度も洗へり顔を
 介護士に母を委ねて帰りゆく道に落葉の我を追いくる
 太陽の位置移ろひて北窓のキッチン一瞬かがやける城
 多重介護に追われる者の映像を見つつ思ひぬ己が老いさき
 畔道にこぼれし初芽を出しぬ秋の終りの晴天の下
 忙しなき年末年始めぐりきて我の肩書「家政婦」となる
 収穫を祝ぎて太鼓を連打する音の響けり鎮守の森に
 何もかも吸い込みそうな今朝の空夕べの喧嘩をさらり飛ばせり
 谷に這う己の影を引き摺りて小高き丘の頂上目ざしぬ
 認知症予防になるとうフオークダンスに出会い踊りしは五十五歳
 幟旗はためく鎮守の森に聞く太鼓の後の郷土の民謡
 ケータイに今日のニュースを呼び出して消灯後のベッドに過ごす

加藤紀子 大藤勝代 大森富貴子 桐原けい子 小坂満 大森悦子 梅沢悦子 川上恵美子 大森勝代 大森勝代 片岡明

那珂市長選挙結果

海野徹氏が再選

任期満了にともなう那珂市長選挙は、1月25日に告示し、新人の菊池一俊氏と現職の海野徹氏が立候補しました。

2月1日に市内26か所の投票所で投票が行われ、投票率は50.22%。中央公民館で同日午後7時から即日開票を行い、その結果海野徹氏が再選しました。

【那珂市長選挙投・開票結果】

◇執行日 平成27年2月1日(日)
 ◇選挙当日有権者数 45,639人
 (男22,207人・女23,432人)

◇投票率 50.22%

◇投票総数 22,921票

(内訳：有効投票22,667票、無効投票254票)

◆開票結果(敬称略・()内は住所および年齢)

当選 海野 徹(北酒出:65) 無現 13,261票
 菊池 一俊(鴻巣:41) 無新 9,406票

那珂市長選挙投票・開票結果

問い合わせ 那珂市選挙管理委員会

☎298-1111 総務課内 内線514

地域安全茨城県民大会で表彰

第36回地域安全茨城県民大会で表彰された、赤津さんをはじめとする受賞者のかたが1月13日、受賞の報告に那珂市役所を訪れました。

皆さんの多年にわたる地域安全活動が評価されたものです。おめでとうございます。

受賞者は次のとおり ※敬称略

- ◆赤津忠昭(全国防犯協会連合会 防犯栄誉銅賞)
- ◆大曾根帥佳(地域安全功労者)
- ◆戸崎地区子供を守ろう会(地域安全功労者団体)
- ◆五台地区防犯・安全パトロール隊(地域安全ボランティア団体)
- ◆秋山誠之(優良防犯連絡員) ◆和地努(優良防犯連絡員)





會澤 和磨さん (20歳) 菅谷

+ わやかさん 114

私の家は理容室で、父も母も理容師です。小さい頃は、学校が休みの日も両親は仕事で、寂しく感じていた時もありましたが、働く両親の姿をずっと見ているうちに、自分も理容師になりたいと思うようになりました。
現在は、茨城理容美容専門学校理容科に通っています。学校では、一日中講義や実習があり大変ですが、同じ目標を持った仲間がいてとても楽しいです。自分の得意分野は、ワインディング(パーマのロッドを巻く技術)で、

両親のような理容師になりたい

昨年10月に北海道で行われた「全国理容美容学生技術大会」のワインディング部門で銀賞を取ることができました。今まで学んできたことが結果となり、とてもうれしかったです。
4月からは、東京の自由が丘にある理容室に就職が決まりました。初めての一人暮らしと仕事の両立に不安はありますが、体調管理をしっかりして、情熱を持って仕事に取り組み、将来は両親のように地元の皆さんに信頼される理容師になりたいです。

HAPPY BIRTHDAY!!



これからもすくすく健康に育ってね♡ かわいいしずく♡



小山しずくちゃん 12/25 生まれ 母・美和さん(瓜連)

家族みんな仲良く♡



ゆいね 武藤結音ちゃん 12/9 生まれ 父・勇輝さん 母・淳子さん(菅谷)

これからも笑顔いっぱい 元気に大きくなってね!



りお 加藤凜桜ちゃん 12/22 生まれ 父・秀朋さん 母・望さん(菅谷)

[12か月健診時に掲載希望者による抽選を行っています。]

はじめのたんじょうび

—ニ家族からのメッセージ—



表紙の裏側

那珂総合公園で開催された平成27年那珂市成人式の様子です。式典終了後の新成人は、当日の青空と同じように澄み切った目をしていました。また、旧友との再会に話も弾み、スマホ片手に思い思いのポーズで二十歳の記念写真を撮る姿があちこちで見られました。

(1月10日)

ヘルスメイトさんが作る

健康料理



茨城県の郷土料理

※レシピは29ページに記載